

2024 度

事 業 報 告

学校法人尚絅学院

〒981-1295

宮城県名取市ゆりが丘4丁目10-1

TEL022-381-3333

2025 年 5 月 30 日

1. 法人の概要

1-1 設置学校

◇ 学校法人尚綱学院

〒981-1295

宮城県名取市ゆりが丘4-10-1

TEL 022-381-3333

◇ 設置する学校・学部・学科等

□ 尚綱学院大学

名取市ゆりが丘4-10-1

TEL 022-381-3300

大学院

総合人間科学研究科

心理学専攻、人間学専攻、公共社会学専攻、健康栄養科学専攻

人文社会学群

人文社会学類

心理・教育学群

心理学類、子ども学類、学校教育学類

健康栄養学群

健康栄養学類

□ 尚綱学院高等学校全日制課程普通科

仙台市青葉区八幡1-9-27

TEL 022-264-5881

□ 尚綱学院中学校

仙台市青葉区八幡1-9-27

TEL 022-264-5881

□ 尚綱学院大学附属幼稚園

名取市ゆりが丘4-10-2

TEL 022-381-2270

建学の精神

尚綱学院は、1892 年アメリカ合衆国のバプテスト派婦人外国伝道協会から派遣された女性宣教師たちによって、キリスト教教育のための「尚綱女学会」として創設されました。創設者の宣教師たちの思いである、「キリスト教精神に基づく教育によって、自己を深め、他者と共に生きる人間を育てる」を尚綱学院の建学の精神として、これまで守り、継承して来ました。

学院名の由来と意味

学院名の「尚綱」は中国の古典『中庸』の 1 節である衣錦尚綱から採られました。それは、金や銀、色鮮やかな糸で織られた美しい着物を着ていたとしても、それを見せて驕るのではなく、その上に質素な麻の打掛をまとい、錦のきらびやかさをつつましく被うという君子の道を説いた言葉です。初代校長アニー・ブゼルはこの「尚綱」の由来を聞き、その謙虚な精神はキリスト教においても重要な精神の一つであるとし、それを説いた聖書の箇所、『新約聖書』ペトロの手紙 1 3 章 3～4 節を示しました。すなわち「あなたがたの装いは、編んだ髪や金の飾り、あるいは派手な衣服といった外面的なものであってはなりません。むしろそれは、柔和でしとやかな気立てという朽ちないもので飾られた、内面的な人柄であるべきです。このような装いこそ、神の御前でまことに価値があるのです」。建学以来、この校名が示す、「外面ではなく内面豊かにする」人間を目指すことを、尚綱学院のスクールモットーとしています。

教育目標

大学・大学院

キリスト教精神と豊かな教養によって内面をはぐくみ、広く知識を学ぶと共に深く専門の学芸を究め、国際的視野に立って人間の幸福に貢献できる人材を育成する。

中学校・高等学校

キリスト教を土台として、人間のあり方を探り他者と共に生きる人材を育成する。

幼稚園

愛されていることを知り、愛することのできる子どもを育てる。
自分の意見や考えを表現し、友達とともに行動できる子どもを育てる。
ものごとに意欲的にとりくみ、工夫し、最後までやりぬこうとする子どもを育てる。
全身を使って表現し活動できる子どもを育てる。

1 - 3 沿革

1890 年	米国バプテスト派宣教師ラヴィニア・ミードが来仙し、家塾を開く
1892 年	「尚綱女学会 普通科(4 年)・聖書科(4 年、～1909 年)」開校式
1896 年	校舎と寄宿舎(エラ・オー・パトリックホーム)落成 (2008 年解体・移築)
1899 年	私立学校令により「私立尚綱女学校」の設立認可 初代校長はアンネ・S・ブゼル
1902 年	校章を制定
1903 年	同窓会設立
1909 年	普通科を本科(5 年)と改称
1917 年	校歌と校旗を制定
1918 年	補習科を研究科と改称
1919 年	附属尚綱幼稚園の設置(～1924 年)
1920 年	高等科 (英文科(3 年)・家事科(3 年)・英文予科(1 年)・選科(1 年以上)) を開設
1921 年	高等科に音楽科を開設 (～1924 年)
1936 年	本科を高等女学部(4 年)、高等科を専攻部(2・3 年)と改称 専攻部に保母科と商科 (～1940 年) を増設
1940 年	専攻部選科を家事選科と改称
1941 年	専攻部保母科を保育科と改称
1942 年	財団法人仙台尚綱女学校創立 校名を仙台尚綱女学校と改称 創立 50 周年
1943 年	法人名を財団法人仙台尚綱高等女学校、校名を仙台尚綱高等女学校に改称
1946 年	専攻部に英文科(2 年)を開設
1947 年	学制改革により、新制中学校を設置
1948 年	新制高等学校を設置 専攻部に体育科(2 年)と洋裁科を開設 校名を「尚綱女学院」と改称 学校の組織を尚綱女学院中学部、同高等部、同専攻部に改正
1950 年	専攻部を母体とする短期大学に、英語科 (～1958 年) と家政科を設置 中学・高等学部制服制定(現在に至る)
1951 年	財団法人を学校法人に組織変更
1955 年	短期大学に保育科を設置 (～2011 年)
1956 年	尚綱女学院幼稚園を設置
1960 年	後援会設立
1961 年	中学部、高等部を中学校、高等学校に改称
1964 年	短期大学家政科を食物栄養専攻と家政専攻に分離 短期大学に保育専攻科(1 年)を開設 (～2010 年)
1967 年	短期大学に英文科を開設 (～2008 年)
1968 年	短期大学保育科が仙台市荒巻に移転
1982 年	尚綱女学院幼稚園を尚綱女学院短期大学附属幼稚園と改称
1989 年	短期大学に人間関係科を開設 (～2005 年) 短期大学が八幡・中山両校地より名取校地へ統合移転 法人所在地を仙台市広瀬町より名取市ゆりが丘に移転
1992 年	創立 100 周年
1993 年	短期大学家政科を生活科学科に改称
1994 年	短期大学に専攻科食物栄養専攻(1 年：学位授与機構認定)を開設(1999 年 2 年制に変更、～2006 年)
1994 年	専攻科保育専攻(1 年)が学位授与機構の認定を受ける(2001 年 2 年制に変更、～2006 年)
1995 年	短期大学に専攻科生活科学専攻(1 年：学位授与機構認定)を開設 (～2006 年)
2000 年	尚綱女学院短期大学附属幼稚園が名取校地に移転
2002 年	創立 110 周年記念式典
2003 年	法人名を尚綱女学院から尚綱学院に改称 尚綱学院大学総合人間科学部(健康栄養学科・人間心理学科)開設 校名を尚綱学院大学女子短期大学部、尚綱学院女子高等学校、尚綱学院女子中学校、尚綱学院大学女子短期大学部附属幼稚園と改称 短期大学生活科学科生活科学専攻を、生活創造学科生活科学専攻に改称 (～2008 年)
2004 年	学院歌制定
2005 年	大学クラブハウス棟落成
2007 年	尚綱学院大学大学院総合人間科学研究科(心理学専攻・健康栄養科学専攻)開設 大学総合人間科学部(表現文化学科・現代社会学科・生活環境学科)開設 尚綱学院女子高等学校に特別進学コース・総合進学コースを設置 学院ロゴマーク制定
2008 年	校名を尚綱学院高等学校、尚綱学院中学校と改称

2009 年	大学図書館・園芸実習棟竣工
2010 年	尚絅学院大学生涯学習センター設置 大学総合人間科学部(子ども学科)開設(～2023 年) 園名を尚絅学院大学附属幼稚園と改称 新学院歌制定
2012 年	創立 120 周年記念式典 大学礼拝堂竣工
2015 年	中学校・高等学校新校舎竣工 大学生生活環境学科を環境構想学科に改称
2016 年	中学校・高等学校体育館竣工 大学院臨床心理実習棟竣工 中学校・高等学校弓道場竣工 尚絅学院高等学校に文理進学コースを設置
2017 年	大学院総合人間科学研究科人間学専攻設置
2018 年	尚絅学院大学ブランドコンセプト「Passion with Mission」制定
2019 年	尚絅学院大学人文社会学群(人文社会学類)、心理・教育学群(心理学類、子ども学類、学校教育学類)、健康栄養学群(健康栄養学類)を設置 イオンモール名取「地域連携交流プラザ」開設
2020 年	大学第二体育館竣工 大学第二体育館附属トレーニング棟竣工
2022 年	創立 130 周年
2023 年	大学院総合人間科学研究科公共社会学専攻設置 大学開学 20 周年
2025 年	「尚絅学院大学長町サテライトプラザ」開設

協定・覚書・姉妹校等

1995 年	アメリカ合衆国のセントラルワシントン大学、イースタンワシントン大学、モンタナ大学への留学と単位振替制度が確立
1998 年	大韓民国イサベル中学・高等学校と姉妹校調印
2002 年	名取市と「文化・産業事業支援に関する協定」を締結(2010 年 2 月廃止)
2003 年	タイ王国サハミット学園と姉妹校調印
2004 年	米国ジャドソン大学と姉妹校調印
2007 年	名取市と「災害時における災害応急対応の活動協力に関する協定」を締結
2007 年	仙台市教育委員会と「連携協力に関する覚書」を締結
2009 年	名取市と「官学連携に関する基本協定」を締結
2012 年	中国・大連理工大学外国語大学院と「教育協力に関する覚書」を締結
2015 年	台湾・弘光科技大学と「友好協力関係に関する協定」を締結
2016 年	米国・シカゴ心理専門職大学院と「友好協力関係に関する協定」を締結
2016 年	韓国・培材大学と「友好協力関係に関する覚書」を締結
2016 年	ロシア・ハバロフスク地方芸術専修大学と「友好協力関係に関する協定」を締結
2016 年	中国・浙江越秀外国語学院と「友好協力関係に関する協定書」及び「学生交流に関する覚書」を締結
2017 年	宮城県教育委員会と「包括連携協力に関する協定」を締結
2017 年	川崎町と「包括的連携に関する協定」を締結
2017 年	ロシア・ロシア国立芸術学研究所と「友好協力関係に関する協定」を締結
2018 年	青森県と「U I J ターン就職促進に関する協定」を締結 ベトナム・ダナン大学師範大学と「友好協力関係に関する協定書」及び「学生交流に関する覚書」を締結 アメリカ・オリンピックカレッジと「友好協力関係に関する協定」を締結
2019 年	関東学院大学と「相互協力・連携協定」を締結 中国・広東省嶺南師範学院と「国際交流の提携協定」を締結 ロシア・国立ゲルツェン教育大学と「国際交流の提携協定」を締結 宮城教育大学と「宮城教育大学大学院教育学研究科専門職学位課程(教職大学院)入学者選抜(選考)試験における特別選抜(選考)協定」を締結
2020 年	仙台大学と「連携協定」を締結 亘理町教育委員会と「連携協定」を締結 山元町教育委員会と「連携協力に関する協定」を締結 大衡村と「包括連携協定」を締結

2022 年	塩竈市教育委員会と「連携協力に関する協定」を締結
2025 年	オーストラリア・国立サザンクロス大学と「海外交流協定」を締結 仙台市太白区、長町商店街連合会、長町地区町内会連合会と「仙台市太白区長町地区 におけるまちづくりに係る連携協力に関する協定」を締結

1-4 役員・評議員の概要

□ 理 事 （任期：2024.9.22～2025.6.26 但し1号理事を除く）14名以上16名以内

理事長 佐藤 司郎

寄附行為 7-1-(1)	5名	常 勤 5 非常勤 0	学院長、学長、高等学校長、幼稚園長、事務局長
7-1-(2)	1名	常 勤 0 非常勤 1	評議員のうちから評議員会において選任した者1名
7-1-(3)	1名	常 勤 0 非常勤 1	同窓会員のうち同窓会より推薦され理事会が承認した者1名
7-1-(4)	5名	常 勤 1 非常勤 4	学識経験者のうちから理事会において選任した者5名以上7名以内
7-1-(5)	2名	常 勤 0 非常勤 2	米国バプテスト海外伝道協会派遣宣教師、日本バプテスト同盟または日本基督教団新生会加盟教会員のうちから理事会において選任した者2名
計	14名	常 勤 6 非常勤 8	

□ 監 事（任期：2024.9.22～2025.6.26）2名

寄附行為 8	2名	常 勤 1 非常勤 1	この法人の理事、職員（学校の長及び教員その他の職員を含む。以下同じ。）又は評議員以外の者で、理事会において選出した候補者のうちから、評議員会の同意を得て理事長が選任する。
-----------	----	----------------	---

□ 評議員（任期：2024.9.16～2025.6.26 但し1号評議員を除く）29名以上33名以内

寄附行為 24-1-(1)	5名	常 勤 5 非常勤 0	寄附行為第7条第1項第1号に掲げる理事
24-1-(2)	6名	常 勤 6 非常勤 0	職員のうちから評議員会において選任した者6名
24-1-(3)	3名	常 勤 0 非常勤 3	年齢25歳以上の同窓会員のうちから同窓会において選任した者3名
24-1-(4)	11名	常 勤 0 非常勤 11	学識経験者のうちから理事会において選任した者11名以上15名以内
24-1-(5)	4名	常 勤 0 非常勤 4	米国バプテスト海外伝道協会派遣宣教師、日本バプテスト同盟または日本基督教団新生会加盟教会員のうちから理事会において選任した者4名
計	29名	常 勤 11 非常勤 18	

1-5 役員（理事・監事）

番号	役職名	氏 名	選任区分 寄附行為 の条項	常勤・ 非常勤 の別	業務執行・ 非業務執行 の別	任 期	
	理 事 長	佐藤 司郎		非常勤	業務執行	2024 年 4 月 1 日から 2025 年 6 月 26 日まで	1 年 3 ヶ月
1	理 事（学 院 長）	佐藤 司郎	7-1-(1)	常勤	業務執行	2023 年 1 月 1 日から 2025 年 6 月 26 日まで	2 年 6 ヶ月
2	理 事（学 長）	鈴木 道子	7-1-(1)	常勤	業務執行	2022 年 4 月 1 日から 2025 年 6 月 26 日まで	3 年 3 ヶ月
3	理 事（校 長）	村上 礼子	7-1-(1)	常勤	業務執行	2022 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで	3 年
4	理 事（園 長）	久慈るみ子	7-1-(1)	常勤	業務執行	2023 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで	2 年
5	常務理事（事務局長）	鈴木 寿	7-1-(1)	常勤	業務執行	2023 年 4 月 1 日から 2025 年 6 月 26 日まで	2 年 3 ヶ月
6	理 事	柿崎 征英	7-1-(2)	非常勤	非業務執行	2021 年 9 月 22 日から 2024 年 9 月 21 日まで	3 年
7	理 事	松坂 宏造	7-1-(2)	非常勤	非業務執行	2024 年 9 月 22 日から 2025 年 6 月 26 日まで	9 ヶ月
8	理 事	小島 典子	7-1-(3)	非常勤	非業務執行	2024 年 9 月 22 日から 2025 年 6 月 26 日まで	9 ヶ月
9	理 事	加藤 正名	7-1-(4)	非常勤	非業務執行	2024 年 9 月 22 日から 2025 年 6 月 26 日まで	9 ヶ月
10	理 事	倉林千枝子	7-1-(4)	非常勤	非業務執行	2024 年 9 月 22 日から 2025 年 6 月 26 日まで	9 ヶ月
11	常務理事	千田 三郎	7-1-(4)	常勤	業務執行	2024 年 9 月 22 日から 2025 年 6 月 26 日まで	9 ヶ月
12	理 事	堀田 壽一	7-1-(4)	非常勤	非業務執行	2024 年 9 月 22 日から 2025 年 6 月 26 日まで	9 ヶ月
13	理 事	三島 卓郎	7-1-(4)	非常勤	非業務執行	2021 年 9 月 22 日から 2024 年 7 月 29 日まで	2 年 10 ヶ月
14	理 事	米山 進	7-1-(4)	非常勤	非業務執行	2021 年 9 月 22 日から 2024 年 5 月 31 日まで	2 年 8 ヶ月
15	理 事	我妻 諭	7-1-(4)	非常勤	非業務執行	2024 年 9 月 22 日から 2025 年 6 月 26 日まで	9 ヶ月
16	理 事	井上 幸一	7-1-(5)	非常勤	非業務執行	2024 年 9 月 22 日から 2025 年 6 月 26 日まで	9 ヶ月
17	理 事	松田 和憲	7-1-(5)	非常勤	非業務執行	2024 年 9 月 22 日から 2025 年 6 月 26 日まで	9 ヶ月
1	監 事	石井 達	8	常勤	非業務執行	2024 年 9 月 22 日から 2025 年 6 月 26 日まで	9 ヶ月
2	監 事	熊谷 真人	8	非常勤	非業務執行	2024 年 9 月 22 日から 2025 年 6 月 26 日まで	9 ヶ月

※2025 年 3 月 31 日現在、在任の役員の任期は 2025 年 4 月 1 日施行の私立学校法改正に伴い、終期は 2025 年 6 月開催の定時評議員会終了日までとなる。

1-6 責任免除・責任限定契約、役員賠償責任保険契約の状況

責任の免除

役員が任務を怠ったことによって生じた損害についてこの法人に対し賠償する責任は、職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がなく、その原因や職務執行状況などの事情を勘案して特に必要と認める場合には、私立学校法において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律の規定により免除することができる額を限度として理事会の議決によって免除することができる。

（学校法人尚綱学院寄附行為第17条に規定）

責任限定契約

理事（理事長、常務理事、業務を執行したその他の理事又はこの法人の職員でないものに限る。）又は監事（以下「非業務執行理事等」という。）が任務を怠ったことによって生じた損害についてこの法人に対し賠償する責任は、当該非業務執行理事等が職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときは、33万6千円以上であらかじめ定めた額と私立学校法において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律で定める額とのいずれか高い額を限度とする旨の契約を非業務執行理事等と締結している。

（学校法人尚綱学院寄附行為第18条に規定）

役員賠償責任保険契約

2020年4月1日施行の改正私立学校法では理事・監事の善管注意義務について規定され、これに違反して法人や第三者に損害を与えた場合、損害賠償責任を負うことが明文化された。役員の経営判断のミス等によって学校法人が損害を被った場合、役員は法人に対して損害を賠償する義務が生じるため、役員の経済的・精神的な負担を軽減し、学校法人のリスク低減並びに経営に関する危機管理の一助とし、又安定的な経営を行うべく、役員賠償責任保険に加入している。

当学校法人の役員が、自らの業務に起因して損害賠償請求を受けた場合に、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害賠償金や争訟費用のほか、法人が負担する調査費用等、又学生や教職員からの損害賠償請求に加えて、法人自体が役員を訴える場合も補償対象となる。

保険の名称：役員賠償責任保険（D&O マネジメントパッケージ）〔東京海上日動火災保険(株)〕

保険期間：2024年4月1日午後4時～2025年4月1日午後4時

支払限度額：5億円

1-7 評議員

番号	選任区分	氏 名	選任区分 寄附行為の条項	常勤・ 非常勤 の別	任 期	
1	学 院 長	佐藤 司郎	24-1-(1)	常勤	2023 年 1 月 1 日から 2025 年 6 月 26 日まで	2 年 6 ヶ月
2	学 長	鈴木 道子	24-1-(1)	常勤	2022 年 4 月 1 日から 2025 年 6 月 26 日まで	3 年 3 ヶ月
3	校 長	村上 礼子	24-1-(1)	常勤	2022 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで	3 年
4	園 長	久慈るみ子	24-1-(1)	常勤	2023 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで	2 年
5	事務局長	鈴木 寿	24-1-(1)	常勤	2023 年 4 月 1 日から 2025 年 6 月 26 日まで	2 年 3 ヶ月
6	教 職 員	赤坂 和昭	24-1-(2)	常勤	2021 年 9 月 16 日から 2024 年 9 月 15 日まで	3 年
7	教 職 員	松本 真奈美	24-1-(2)	常勤	2021 年 9 月 16 日から 2024 年 9 月 15 日まで	3 年
8	教 職 員	上村 静	24-1-(2)	常勤	2024 年 9 月 16 日から 2025 年 6 月 26 日まで	9 ヶ月
9	教 職 員	三好 敏之	24-1-(2)	常勤	2024 年 9 月 16 日から 2025 年 6 月 26 日まで	9 ヶ月
10	教 職 員	神山 幹幸	24-1-(2)	常勤	2024 年 9 月 16 日から 2025 年 6 月 26 日まで	9 ヶ月
11	教 職 員	佐々木 大輔	24-1-(2)	常勤	2024 年 9 月 16 日から 2025 年 6 月 26 日まで	9 ヶ月
12	教 職 員	小島 里美	24-1-(2)	常勤	2024 年 9 月 16 日から 2025 年 6 月 26 日まで	9 ヶ月
13	教 職 員	吉谷 正樹	24-1-(2)	常勤	2024 年 9 月 16 日から 2025 年 6 月 26 日まで	9 ヶ月
14	同 窓 会	内海 奈保子	24-1-(3)	非常勤	2024 年 9 月 16 日から 2025 年 6 月 26 日まで	9 ヶ月
15	同 窓 会	菊地 和子	24-1-(3)	非常勤	2024 年 9 月 16 日から 2025 年 6 月 26 日まで	9 ヶ月
16	同 窓 会	鬼澤 洋美	24-1-(3)	非常勤	2024 年 9 月 16 日から 2025 年 6 月 26 日まで	9 ヶ月
17	学識経験者	浦川 肇	24-1-(4)	非常勤	2024 年 9 月 16 日から 2025 年 6 月 26 日まで	9 ヶ月
18	学識経験者	柿崎 征英	24-1-(4)	非常勤	2024 年 9 月 16 日から 2025 年 6 月 26 日まで	9 ヶ月
19	学識経験者	斎藤 紘一	24-1-(4)	非常勤	2024 年 9 月 16 日から 2025 年 6 月 26 日まで	9 ヶ月
20	学識経験者	佐藤 公敏	24-1-(4)	非常勤	2024 年 9 月 16 日から 2025 年 6 月 26 日まで	9 ヶ月
21	学識経験者	白江 浩	24-1-(4)	非常勤	2024 年 9 月 16 日から 2025 年 6 月 26 日まで	9 ヶ月

22	学識経験者	白川 由利枝	24-1-(4)	非常勤	2024年9月16日から 2025年6月26日まで	9ヶ月
23	学識経験者	菅井 裕行	24-1-(4)	非常勤	2021年9月16日から 2024年9月15日まで	3年
24	学識経験者	鈴木 敏夫	24-1-(4)	非常勤	2024年9月16日から 2025年6月26日まで	9ヶ月
25	学識経験者	徳能 邦幸	24-1-(4)	非常勤	2024年9月16日から 2025年6月26日まで	9ヶ月
26	学識経験者	西川 善久	24-1-(4)	非常勤	2021年9月16日から 2024年9月15日まで	3年
27	学識経験者	松坂 宏造	24-1-(4)	非常勤	2024年9月16日から 2025年6月26日まで	9ヶ月
28	学識経験者	渡邊 忠雄	24-1-(4)	非常勤	2024年9月16日から 2025年6月26日まで	9ヶ月
29	学識経験者	KEENI Glenn Mansfield	24-1-(4)	非常勤	2024年9月16日から 2025年6月26日まで	9ヶ月
30	日本バプテスト同盟 日本基督教団新生会	太田 喜一郎	24-1-(5)	非常勤	2021年9月16日から 2024年9月15日まで	3年
31	日本バプテスト同盟 日本基督教団新生会	長尾 厚志	24-1-(5)	非常勤	2024年9月16日から 2025年6月26日まで	9ヶ月
32	日本バプテスト同盟 日本基督教団新生会	根内 純	24-1-(5)	非常勤	2024年9月16日から 2025年6月26日まで	9ヶ月
33	日本バプテスト同盟 日本基督教団新生会	日野 哲	24-1-(5)	非常勤	2024年9月16日から 2025年6月26日まで	9ヶ月
34	日本バプテスト同盟 日本基督教団新生会	渡部 芳彦	24-1-(5)	非常勤	2024年9月16日から 2025年6月26日まで	9ヶ月

※2025年3月31日現在、在任の評議員の任期は2025年4月1日施行の私立学校法改正に伴い、終期は2025年6月開催の定時評議員会終了日までとなる。

1－8 理事会・評議員会及び監査の状況

(1) 理事会の開催状況(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

開催月日	開催場所	招 集			議題名
		出席	委任状 提出	欠席	
5月29日(水)	尚綱学院大学 大会議室	13名	2名	2名	1. 2023年度事業報告に関する件 2. 2023年度決算に関する件 3. 2025年度納付金並びに入学検定料に関する件 4. 理事の競業に関する件 5. 理事の辞任に関する件 6. 資産総額の変更に関する件 7. 2024年度資金年間運用計画に関する件
7月26日(金)	尚綱学院 中学校・高等学校 大会議室	12名	1名	2名	1. 第5次中期計画に関する件 2. 私立学校法改正に伴う寄附行為の改正に関する件 3. 次期評議員(学識経験者、B I M・日本バプテスト・日本基督教団新生会)の選任に関する件 4. 次期監事候補者の選出に関する件 5. 校長候補者選考委員会の設置と選考委員の選出に関する件 6. 幼稚園長候補者推薦委員会の設置と推薦委員の選出に関する件 7. 諸規程の整備に関する件
9月20日(金)	尚綱学院大学 大会議室	13名			1. 次期理事(同窓会員、学識経験者、B I M・日本バプテスト・日本基督教団新生会)及び監事の選任に関する件 2. 私立学校法改正に伴う寄附行為の改正に関する件 3. 諸規程の整備に関する件
9月27日(金)	尚綱学院大学 大会議室	13名	1名	1名	1. 理事会体制に関する件
11月29日(金)	尚綱学院大学 大会議室	13名	1名	1名	1. 次期中高校長の選任に関する件 2. 次期幼稚園長の選任に関する件 3. 学長候補者選考委員会の設置と選考委員の選出に関する件 4. 大学総合人間科学部現代社会学科と環境構想学科の廃止とそれに伴う寄附行為の改正に関する件
1月31日(金)	尚綱学院大学 大会議室	12名	2名	2名	1. 2024年度補正予算に関する件 2. 寄附行為変更認可申請に係る修正事項に関する件 3. 2025年度役員賠償責任保険の加入に関する件 4. 大学の学則改正に関する件
3月28日(金)	尚綱学院大学 大会議室	14名	0名	0名	1. 第5次中期計画(案)に関する件 2. 2025年度事業計画(案)に関する件 3. 2025年度資金収支予算(案)並びに事業活動収支予算(案)に関する件 4. 大学総合人間科学部健康栄養学科の廃止とそれに伴う寄附行為の改正に関する件 5. 理事選任機関の構成員に関する件 6. 学院募金事業に関する件 7. 諸規程の整備に関する件

(2) 評議員会の開催状況 (2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで)

開催月日	開催場所	招 集			議題名
		出席	委任状 提出	欠席	
5 月 29 日(水)	尚綱学院大学 大会議室	24 名	7 名	7 名	1. 2023 年度事業報告に関する件 2. 2023 年度決算に関する件
7 月 26 日(金)	尚綱学院 中学校・高等学校 大会議室	23 名	8 名	8 名	1. 第 5 次中期計画の策定に関する件 2. 私立学校法改正に伴う寄附行為の改正に関する件 3. 次期評議員(職員)の選任に関する件
9 月 20 日(金)	尚綱学院大学 大会議室	28 名	1 名	1 名	1. 次期理事(評議員)の選任に関する件 2. 次期監事候補者に関する件 3. 私立学校法改正に伴う寄附行為の改正に関する件
11 月 29 日(金)	尚綱学院大学 大会議室	28 名	1 名	1 名	1. 大学総合人間科学部現代社会学科と環境構想学科の廃止 とそれに伴う寄附行為の改正に関する件
1 月 31 日(金)	尚綱学院大学 大会議室	23 名	6 名	6 名	1. 2024 年度補正予算に関する件
3 月 28 日(金)	尚綱学院大学 大会議室	29 名	4 名	4 名	1. 第 5 次中期計画(案)に関する件 2. 2025 年度事業計画(案)に関する件 3. 2025 年度資金収支予算(案)並びに事業活動収支予算(案) に関する件 4. 大学総合人間科学部健康栄養学科の廃止とそれに伴う寄 附行為の改正に関する件 5. 理事選任機関の構成員に関する件 6. 学院募金事業に関する件

(3) 監査の状況 (2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで)

① 監事監査

監査月日	監査場所	監査員	監査内容
4 月 24 日(水)～ 9 月 10 日(火)	尚綱学院大学 内部監査室他	監事 1 名	随時監査:大学の改編にかかる検討状況について ・関係資料の閲覧等により監査。改善要請事項等特になし。
5 月 8 日(水)～ 通年	尚綱学院大学 大会議室他	監事 1 名	随時監査:大学機関別認証評価制度への取組状況について ・関係会議への陪席等により監査。PDCA を十分機能させることを意識した取組みが行われていた。7 年振りの日本高等教育評価機構による認証評価受審への対応も適時適切に行われ、適合認定を受けていた。
5 月 9 日(木)	尚綱学院大学 大会議室	監事 2 名	定期(期末)監査:2023 年度決算概要 ・2023 年度の「監査報告書」参照。特に指摘すべき事項等なし。
5 月 21 日(火)～ 通年	尚綱学院大学 内部監査室他	監事 1 名	随時監査:不祥事の再発防止策の実施・進捗状況について ・稟議書及び経理伝帳票類の精査等により監査。再発防止に係わる規程改正箇所の事務遵守状況は概ね問題なし。コンプライアンス研修の確実な実施の確認をはじめ監査は継続していく。
5 月 24 日(金)～ 7 月 19 日(金)	尚綱学院大学 内部監査室他	監事 1 名	随時監査:公的研究費補助金の管理状況について ・関連支出伝帳票類の精査等により監査。関連規程類の整備及び備品管理の徹底状況等に課題あり、年度内にフォローアップ監査を行うこととした。(フォローアップ監査を 2025 年 3 月に実施、後記参照)
6 月 14 日(金)～ 通年	尚綱学院大学 大会議室他	監事 1 名	随時監査:第 4 次中期計画の進捗及び次期計画の策定状況について ・常任会への陪席等により監査。4 次中期計画は概ね計画通り取組みが行われていた。5 次中期計画は相応の時間をかけ、意見公募も採り入れるなど丁寧に策定していた。
6 月 28 日(金)～ 通年	尚綱学院大学 大会議室他	監事 1 名	随時監査:私立学校法の一部改正への対応準備状況について ・常任会への陪席等により監査。工程表予定比遅れたが一部諸規定の整備は行われた。諸規程整備及び運用の状況等の監査は継続する。
11 月 20 日(水)	尚綱学院大学 大会議室	監事 2 名	定期(中間)監査: 2024 年度監査報告、意見交換 ・2024 年度の「監査の状況」及び「監査報告書」参照。
11 月 11 日(月)～ 12 月 13 日(金)	尚綱学院大学 理事長室他	監事 1 名	随時監査:公益通報対応業務従事者としての対応を通じた監査 ・学院側において公益通報対応業務従事者所見を踏まえ、対応取組み中。
3 月 3 日(月)～ 3 月 31 日(月)	尚綱学院大学 法人会議室他	監事 1 名	随時監査:公的研究費補助金の管理状況について (フォローアップ監査) ・関連資料の確認等により監査。関連規程類の整備及び備品管理状況の改善が確認されたほか、管理態勢の整備状況も改善が見られた。
通年	尚綱学院大学 大会議室他	監事 1 名	随時監査:内部監査との連携を通じた監査 ・2024 年度の「監査の状況」参照。

② 内部監査

監査月日	監査場所	監査員	監査内容
6月17日～7月5日 (書類監査) 7月12日(金) (ヒアリング)	尚綱学院大学 法人会議室	内部監査室長 (陪席:常勤監事)	公的研究費監査「科研費通常監査」(大学:教育研究支援課) (結果等)昨年度の実地検査、内部監査における指摘事項への全体的な改善活動が継続的に行われていることを確認した。但し、未だ改善が十分でない点があり指摘を行った。これに対する改善計画等が提出され、今後引き続き改善活動を行っていくこととしている。
8月19日～9月6日 (書類監査) 9月10日(火)～9月17日(火)(ヒアリング)	尚綱学院大学 法人会議室等	内部監査室長 (陪席:常勤監事)	公的研究費監査「リスクアプローチ監査」(大学:研究者5名) (結果等)研究者はリスク管理の意識を持って科研費を取り扱っていることを確認した。但し、一部において出張に関する書類の提出や非常勤雇用者の勤務報告等に不十分な点があり指摘を行った。これに対する改善計画等が提出され、今後改善活動を行っていくこととしている。
7月23日 (書類監査) 7月30日(火) (ヒアリング)	尚綱学院中学・高等学校 会議室等	内部監査室長 (陪席:常勤監事)	業務監査「中高における部費等の管理」(中高) (結果等)不正防止のためのルールを整備し、概ね適切な運用が行われていることを確認した。但し、一部内規を遵守していないケースがあり指摘を行った。これに対する改善計画等が提出され、今後改善活動を行っていくこととしている。
10月11日～10月31日(書類監査) 11月8日(金) (ヒアリング)	尚綱学院大学 法人会議室	内部監査室長 (陪席:常勤監事)	業務監査「大学における入学者募集活動の運営」(大学:入試課) (結果等)主体機関において計画的で実効性のある活動が行われていることを確認した。但し、「募集総括」における重点項目の進捗状況が不明記であったこと、また全体に向けた情報発信による募集活動の問題や課題を共有化する取り組みの必要性について指摘を行った。これに対する改善計画等が提出され、今後改善活動を行っていくこととしている。
1月7日～1月24日 (書類監査) 1月29日(水) (ヒアリング)	尚綱学院大学 法人会議室	内部監査室長 (陪席:常勤監事)	業務監査「業務委託契約の管理状況」(経営管理部:管財課) (結果等)委託業務におけるリスクへの万全な運営管理が行われていることを確認できなかった。よって委託業務契約における責任体系の明確化と統括的な運営管理体制に基づく各委託業務契約が遂行されるよう実効性のあるリスクマネジメントを行うよう指摘を行った。これに対する改善計画等が提出され、今後改善活動を行っていくこととしている。
9月9日～9月20日 (書類監査) 9月25日(水) (ヒアリング)	尚綱学院大学 法人会議室	内部監査室長 (陪席:常勤監事)	フォローアップ監査「地域連携交流プラザ等の生涯学習事業の運営」(大学:交流推進課) (結果等)昨年度提出された改善措置回答書に記載された事項への対応及び計画が着実に実行されていることを確認した。また困難であった新たなサテライトを開設など適切な改善活動が行われているものと判断した。
11月27日～12月6日(書類監査) 12月11日(水) (ヒアリング)	尚綱学院中学・高等学校 学院長室	内部監査室長 (陪席:常勤監事)	フォローアップ監査「預り金等の適正な管理と運用」(中高事務室) (結果等)昨年度提出された改善措置回答書に記載された事項への対応及び計画が着実に進められており、適切な改善活動が行われているものと判断した。
通年	(改善計画履行状況報告書提出)	内部監査室長	監査履行状況調査「学院が管理・保有する情報資産を守るための学内情報セキュリティ対策の実際」(経営管理部:管財課) (結果等)前年度のフォローアップ監査での指摘事項について着実な改善活動が行われていることを確認した。
通年	(改善計画履行状況報告書提出)	内部監査室長	監査履行状況調査「幼稚園における個人情報の適切性、取り扱いルールの明確性」(幼稚園) (結果等)前年度のフォローアップ監査での指摘事項について着実な改善活動が行われていることを確認した。

③ 会計監査

監査月日	監査場所	監査員	監査内容
4月29日(月・祝), 4月30日(火), 5月1日(水), 5月2日(木)	尚綱学院大学 法人会議室	公認会計士 4名	期末監査 2023年度計算書類
11月11日(月) ～11月13日(水)	尚綱学院大学 法人会議室	公認会計士 4名	期中監査 2024年度収入支出会計処理

④ 監査協議会

監査月日	監査場所	出席	監査内容
5月9日(木)	尚網学院大学 大会議室	7名	2023年度監査報告 公的研究費監査等での指摘事項への対応状況 2024年度監査計画
11月20日(水)	尚網学院大学 大会議室	6名	2024年度監査報告 各監査人打合せ 今後の監査に向けて

1-9 学校・学群・学類等の入学定員、学生 生徒 園児数の状況(出席数)

部 門	学年・学類		定員	学生・生徒・園児数	学生・生徒・園児数	定員充足率	異動状況
				2024年5月1日現在	2025年3月1日現在		
大学院	1	心理学	6	8	8	1.33	0
		人間学	6	0	0	0.00	0
		公共社会学	6	4	4	0.67	0
		健康栄養科学	6	0	0	0.00	0
		計	24	12	12	0.50	0
	2	心理学	6	9	9	1.50	0
		人間学	6	2	1	0.17	-1
		公共社会学	6	2	2	0.33	0
		健康栄養科学	6	3	3	0.50	0
		計	24	16	15	0.63	-1
	合計		48	28	27	0.56	-1
大 学	1	人文社会	200	184	175	0.88	-9
		心理	60	73	70	1.17	-3
		子ども	80	50	49	0.61	-1
		学校教育	40	45	43	1.08	-2
		健康栄養	80	77	76	0.95	-1
		計	460	429	413	0.90	-16
	2	人文社会	200	200	198	0.99	-2
		心理	60	79	76	1.27	-3
		子ども	80	47	47	0.59	0
		学校教育	40	42	40	1.00	-2
		健康栄養	80	80	76	0.95	-4
		計	460	448	437	0.95	-11
	3	人文社会	204	198	196	0.96	-2
		心理	62	66	62	1.00	-4
		子ども	82	62	60	0.73	-2
		学校教育	42	47	47	1.12	0
		健康栄養	80	63	62	0.78	-1
		計	470	436	427	0.91	-9
	4	人文社会	204	218	206	1.01	-12
		心理	62	73	72	1.16	-1
		子ども	82	89	88	1.07	-1
		学校教育	42	43	43	1.02	0
		健康栄養	80	92	92	1.15	0
		計	470	515	501	1.07	-14
	4	人間心理（科）		2	2		0
		現代社会（科）		1	0		-1
		環境構想（科）		1	0		-1
		健康栄養（科）		1	1		0
		計		5	3		-2
	合計		1,860	1,833	1,781	0.96	-52
高 校	1	240	370	359	1.50	-11	
	2	240	351	344	1.43	-7	
	3	240	301	298	1.24	-3	
	合計	720	1,022	1,001	1.39	-21	
中学校	1	30	26	26	0.87	0	
	2	30	35	34	1.13	-1	
	3	30	18	18	0.60	0	
	合計	90	79	78	0.87	-1	
幼稚園	3歳児	16	23	26	1.63	3	
	4歳児	52	25	24	0.46	-1	
	5歳児	52	40	40	0.77	0	
	合計	120	88	90	0.75	2	
総計		2,838	3,050	2,977	1.05	-73	

1-10 教職員の概要(人件費基礎) (2025年3月31日現在)

経営戦略室	事務員 (2)※	計 0			
※兼務					
内部監査室	常勤監事 (1)※	事務員 1	計 1		
※役員扱い					
経営管理部	事務局長 1	事務員 18	嘱託職員 0	宗教主任 1	計 20
大学	学長 1	副学長 2	教授 39	准教授 24	講師 7
		助教 0	特任教授 6	特任准教授 0	特任講師 2
					計 81
大学事務部	事務員 29	学生支援 センター 3	実験助手 5	嘱託職員 9	臨時職員 11
計 57					
中学校・高等学校	校長 1	教頭 2	教諭 47	養護教諭 2	
		専任講師 1	契約教員 5	実験助手 1	計 59
中高事務室	事務員 7	計 7			
幼稚園	園長 1	教頭 1	教諭 8	嘱託教員 1	臨時教員 4
計 15					

* 人件費以外で派遣1名(幼稚園1)、業務委託(個人契約)2名(中高カウンセラー1、パレーボール部コーチ1)
* 上記のほか、役員3、同窓会2、後援会2

合計
240

○新任者

○新卒者

経営管理部	事務員 0	嘱託職員 0	計 0
-------	----------	-----------	--------

大学	教授 0	准教授 0	講師 0	計 0
----	---------	----------	---------	--------

大学事務部	事務員 1	嘱託職員 5	臨時職員 10	計 16
-------	----------	-----------	------------	---------

中学校・高等学校	教諭 2※	専任講師 1	契約教員 5	計 8
----------	----------	-----------	-----------	--------

※定年再雇用1名含む

中高事務室	事務員 1※	計 1
-------	-----------	--------

※定年再雇用

幼稚園	園長 1	嘱託職員 1	臨時職員 1	計 3
-----	---------	-----------	-----------	--------

合計
28

○退職・契約満了者

	教授	准教授	特任教授	特任講師	計
大学	2	2	4	1	9
	事務員	嘱託職員	臨時職員	計	
大学事務部	4	1	4	9	
	教諭	専任講師	契約教員	実験助手	計
中学校・高等学校	2	1	4	1	8
	事務員	計			
中高事務室	3	3			
	園長	教諭	臨時職員	計	
幼稚園	1	2	2	5	

合計
34

1-11 施設設備整備概要（修繕含む）

○大学

（円）

整備項目	費用	業者	摘要
1号館ドラフトチャンバー排風機更新	2,442,000	ナルセ	1号館実習施設の排気設備、老朽化更新
防火・防災設備更新	5,015,000	ビルメティック	消火器、消火栓ホース、誘導灯バッテリー、標識、非常照明更新等
4号館防火シャッター更新	3,630,000	三和シャッター工業	4号館1階吹き抜け区画、建築基準法に基づく更新
受水槽更新	17,160,000	アトマックス	学生会館地下ボイラー室の給水設備、ダウンサイジングと老朽化更新
教務システム基盤更新	19,470,000	マイコム	サーバーハードウェア老朽化に伴う更新
情報インフラ(基盤サーバ類)更新	8,173,000	エフサステクノロジーズ	サーバーOS保守サポート期限満了に伴うバージョンアップ
5E教室プロジェクター更新	1,793,000	システムズ	5E教室の視聴覚設備、老朽化更新
5C教室スクリーン更新	1,210,000	システムズ	5C教室の視聴覚設備、老朽化更新
4111教室プロジェクター、4112・4113教室電動スクリーン更新	1,166,000	システムズ	4号館1階3教室の視聴覚設備、老朽化更新

○中学校・高等学校

（円）

整備項目	費用	業者	摘要
表現実習室の天窓修繕	1,067,000	サンホーム	排煙窓を開閉操作するオペレーター修繕
2階～4階談話スペースOAダクト漏水対策工事	1,980,000	アサヒファシリティズ	暴風雨時の雨水逆流対策工事
テニスコート整備	2,530,000	長谷川体育施設	テニスコートリフォーム、水溜り対策とライン再形成等
空調機圧縮機・基盤整備	1,650,000	ダイキン工業	3階教室東側室外機のレトロフィット整備、耐久性・省エネ性向上

2 事業報告

2024 年度 学院事業報告

1（学院全体）

- （1）全学院の緊密な連携のもとに、建学の精神に基づく尚絅学院の教育の更なる充実と前進をはかる。今年度は第4次中期計画（2019～2024年度）の最終年度にあたり、掲げられた計画の実現度合いの評価・総点検を各学校、各部署で行い、次期中期計画の立案・策定につなげる。
- （2）18歳人口、15歳人口の長期低落の事実をみすえ、入学生確保のための努力を全学院的におこなう。そのため高大連携をいっそう深める。高校、大学、それぞれに、送り出す努力を、受け入れる努力を万難を排し行う。
- （3）同窓会、後援会をふくめて、学院全体の広報を見直し、適切かつ効率的な情報発信を行う。

→学院全体に関わることであり、われわれは3点を掲げ、建学の精神に基づく尚絅学院の教育の更なる充実と前進をはかった。第1に掲げた、第4次中期計画（2019～2024年度）に関しては「評価と振り返り」がなされ、総点検が試みられた。当該項目に現状が記されている。なされなかったこと、不十分なところなども明らかにされた。今後これらにきちんと対応することを課題としたい。その上で次期中期計画の立案・策定を行う。2番目にわれわれは高大連携・接続の強化を掲げた。これは大学、高校双方の努力で一定程度前進した。これによって進学希望者を画期的に増やすことは簡単でないが、高校と大学、それぞれが互いをつねに念頭において、教育の質の向上、状況即応性の向上のため今後も多様な試みがなされつづける必要がある。第3の「学院全体の広報を見直し、適切かつ効率的な情報発信を行う」については、十分な前進は見られなかった。次期中期課題に継続したい。

2（キリスト教教育）

- （1）建学の精神を堅持し、キリスト教精神に基づく学院運営・教育に努める。それを担保するため以下の三つの領域につねに留意する。第一に、学院の運営そのものが、また諸行事が、建学の精神に基づき確実に執り行われること。第二に、各学校で、礼拝が重んじられるだけでなく、キリスト教科目の授業（大学ではキリスト教概論、中高では聖書科）が適正に行われること。第三に、各学校の現場で、キリスト教の精神に基づく豊かで斬新な教育的試みが、絶えず行われること。
- （2）創立記念礼拝・建学の精神研修会を実施する。今年度も開催は11月24日の予定である。学院の全教職員がこれを重んじるように要請する。
- （3）キリスト教精神に基づく教育を継続・発展させるためには、キリスト者教職員が不可欠である。これを確保するため努力する。

→建学の精神であるキリスト教に基づく人間教育、人格教育を行うため留意されるべき三つの領域を上げたが、これらは、ほぼ不変のことであろう。その自覚に立って、学院長、宗教主任を先頭に、所属長、各部署の責任者は、研鑽につとめ、努力をつづけていく。今年度とく

に評価してよいのは中高の朝礼が充実していたことである。なおまだ「終礼や礼拝ノートの取り組み」などに課題が残っているということなので、さらに努力を重ねていきたい。大学ではキリスト教概論の授業が確実に行われていることは評価することができる。共通シラバスに基づく授業展開、評価など、これをさらにつづけていく。礼拝と聖書の授業は車の両輪であり、本学院の教育の基礎である。まだ残る課題の一つは学内での自由なキリスト教活動であるが、今年度も積極的に取り組みがなされた。創立記念礼拝・建学の精神研修会は今年度も、創立記念日の11月24日午後、学内講師（学院長、学長）により行われた。尚綱の歴史を学ぶ良い機会となった。キリスト者教員の採用を目指したが現時点ではできていない。そのため関係者のご協力をあおぎながら、今後も追求していきたい。

3（地域とともに）

市民に開かれた、地域に根ざしかつ奉仕する学校づくりを目指し、今年度も、「里山再生プロジェクト」に取り組み、「尚綱音楽祭」を実施し、「生涯学習講座」、「地域連携スポーツクラブ〈絆〉」を運営する。また中学高等学校では、地域の町内会との交流等の活動に参加する。

→「市民に開かれた、地域に根ざしかつ奉仕する学校づくりを目指す」基本姿勢は今年も堅持された。「里山再生プロジェクト」は途中熊の出没といった事態もあり、活動回数は少し減ったが、その意味に鑑み、可能な限り取り組んだ。皆様方のご協力に改めて感謝したい。「生涯学習講座」、「地域連携スポーツクラブ〈絆〉」もこれまで通り開催されてきた。ただ新年度は、長町サテライトプラザの開所とともに、見直しをはかられる予定である。地域とともに歩む教育機関の役割を今後も果たしていきたい。中高は今年も地域との連携を深め、生徒たちの全人的成長を促した。

4（大学）

- （１）何よりも第４次中期計画の着実な実施をはかり、これまでの教育におこたりのないように努める。
- （２）教育体制は絶えず改革されなければならない。学系、学群・学類制という器は整えられたが、本来これによって目指されたことが実現されたのか、残された課題は何か。それは学生にとってどうであったか、教育・研究にとってどうであったか、学生募集にとってどうであったか、尚綱学院のキリスト教人間教育にとってどうであったか、今後の中期的な教育課題をになうのに適切なのか、厳密に検証し、時代の流れに即応した継続的発展のために短期・中期の絶えざる改革に着手する。
- （３）日本高等教育評価機構による認証評価受審にあたって、入念な準備の上、適切に対応する。
- （４）地域連携交流プラザ施設の契約満期に伴い、次期プラザの適切な運営について検討を進めていく。

→第４次中期計画の着実な実施をわれわれは課題として上げた。「評価と振り返り」の項などを見ると、着実に実施されたが、課題も残されていることが記されている。これを次期中期課題へとつなげていくようにしたい。大学を取り巻く現在及び将来の状況を把握して、適切な

対応を今後も試みていきたい。今年度３番目に掲げた「日本高等教育評価機構による認証評価受審」については、関係者のご努力により、認証評価を受審し、適合の評価を得た報告ができることを喜ばしく思う。次期プラザの適切な運営については、新たに長町サテライトプラザの開所として実現した。

５（中高）

- （１）今年度はとくに第４次中期計画の最終年度、新カリキュラムの完成年度になる。これまでの教育におこたりのないよう努める。
- （２）中学校は現在の特色ある教育内容を更に進化させ、同時にそれを社会に積極的に広報し、本学への進学者数の拡大に努める。
- （３）制服の一律着用廃止を今年度から実施することになる。これを機に、生徒みずからが自由で規律ある生活を造り上げていけるように指導しかつ援助していく。
- （４）高校は、今年も、多くの生徒を迎えることができた。礼拝、聖書教育を中心としたキリスト教教育はもちろんのこと、一人ひとりを大切にする尚絅学院の教育があらゆる場面でいっそう豊かに継続できるように努める。
- （５）「総進」、「文理」、「特進」、それぞれに相応しい進路指導を行い、より高いレベルの目標達成を実現する。各部活動やボランティア活動の更なる活性化も促したい。

→第４次中期計画の着実な実施がはかられた。「評価と振り返り」に不十分な点は記されている。しかしほぼ当初の目標を達成しつつある。まだ残っているところは、第５次中期計画の中で継続して取り組んでいきたい。中学においては、今年も、生徒一人ひとりに見合った教育の取り組みがなされた。今後も特色ある教育につとめつつ、これをさらに発展させるため、これからの在り方についても真剣に考えていきたい。制服・私服の自由選択制は、心配された混乱もなく、学校生活の豊かさ、楽しさに寄与している。高校は「総進」、「文理」、「特進」の体制の中で、適切な教育がおこなわれている。これに引き続き取り組む。また多くの志願者、入学者を与えられていることは感謝である。これが定着していくように、教育の質をいっそう上げていくことが課題である。

６（幼稚園）

幼稚園においては、一人ひとりの園児の生活と遊びを豊かにし、その発達を促す。生活と遊びの中にキリスト教精神が育まれるように努める。保護者参加型幼稚園を推進する。職員一人ひとりの健康管理に留意しつつ、いっそう充実した保育を実現するための研修や研究活動を重んじる。

→「生活と遊びの中にキリスト教精神が育まれるように努める」という方針は宗教主任の協力のもとに今年度もつねに意識され、よい効果をもたらしている。保護者参加型幼稚園を推進するという目標も達成されつつあり、次年度も引き続き継続していく。職員一人ひとりの健康管理、研修など、日頃から配慮がされた。

7（事務局）

私立学校法の改正、大学認証評価の受審、学校法人尚絅学院第5次中期計画の策定を確実に実施する。また、2025年度事務組織再編に向けた検討と準備を進め、業務の効率化とDX化を図る他、人材育成のための研修を継続して業務高度化を目指す。

→私立学校法の改正では、寄附行為の認可を受け、関連する諸規程等を整備した。大学では日本高等教育評価機構による認証評価を受審し、適合と認定された。また、第4次中期計画を総括し、単年度事業計画と整合性を図る第5次中期計画（2025～2029年度）を策定した。2025年度事務組織再編を掲げ検討を進めたが、組織区分や業務分掌の整理等を考慮し1年先送りとした。会議資料のペーパーレス化をはじめ、入試業務、生涯学習事業、学納金口座登録、電話自動音声システムの導入など業務のDX化を進めた他、人材育成研修を実施し、事務効率化と高度化につなげた。

2 事業報告

2024 年度 大学・大学院事業報告

＜第4期中期計画の着実な実施、教育改善及び入学生確保に向けた取組の推進＞

2024年度は、第4次中期計画の最終年度として、重点課題・目標に対する評価と総括を行った。特に、学修成果の可視化を含む教学システムの構築や内部質保証システムの推進については、一定の成果を得ることが出来た。

入学生確保に向けた将来構想の構築が喫緊の課題であるため、将来構想検討委員会を立ち上げ、2026年度のカリキュラム改編をはじめとする教育改革に向けた検討を開始した。合わせて、現在の志願者層に本学の魅力を発信するため CMS を活用したインフォメーションにより積極的に情報発信を行ってきた。しかし、志願者数が伸びず、結果として2025年度入学者は入学定員を下回る結果となった。

7年に1度の日本高等教育評価機構による認証評価の受審については、関係部署と連携を取りながら着実に準備を進め、「大学評価基準を満たしている」との評価を得ることができた。

多様な学生に対する支援については、教学系事務組織による横断的な支援体制を構築することで、関連センターや学類と連携しながら対応していくことになった。

＜中期計画“Mission19”の3つのビジョンと19の重点課題に沿った取組みの推進＞

1. 建学の精神に基づく人間教育（心を響かせる）

（①キリスト教教育の充実）

▶宗教部、聖歌隊、チャペルメイト等を中心とした日々の礼拝やコンサート等のイベントを通して、学生や教職員に対し、キリスト教教育の理解を深め、建学の精神の共有を図る取り組みを行った。

（②多様性を認め、協働する態度の育成）

▶学生支援室主催のもと、大学に求められる障がい学生支援のあり方に関するFDを実施し、多様な学生への理解と支援体制の整備に努めた。

（③SDGs（国連の持続可能な開発目標）への取組み関連）

▶SDGs センターのもと、SDGs マルシェ、大学生と考えるSDGs、インクルーシブスポーツキャラバン、SDGs セタ企画、きらきらイチゴプロジェクト、「夢見る校長先生」上映会等、SDGsを意識した取り組みが全学的に推進され、本学の取組みを社会に向けて情報発信することが出来た。

（④学修の内発的動機付け）

▶アセスメンターやSPレーダーの活用が浸透してきたことで、学修計画や活動状況の記録、教員からのアドバイス等が蓄積され、学生が自身の学修成果を可視化できるようになった。

（⑤地域社会への貢献（ボランティア活動を含む））

▶学生と教職員による能登半島輪島市での災害ボランティア活動や、ボランティアチーム TASKI による地元閑上地区夏祭り、地元大型ショッピングモールでの防災グッズ普及活動、仙台市防災フォーラムのパネリスト参加など、幅広い活動を行った。

▶数多くの学生たちが宮城県内の幼稚園や保育所、小中学校での学習支援やイベント運営補助のボランティア活動を行った。

（⑥同窓会などとの連携強化）

▶尚絅学院高等学校との高大連携授業が2024年度から本格的にスタートした。

▶同窓会との連携では、同窓会大学部会の協力を得て大学祭時にホームカミングパーティーを開催し、同窓生や旧教職員が集う機会を作ることができた。

▶尚学会からは、学生に対する学資援助や課外活動助成、施設設備整備などの支援を受け、教育環境の充実が図られた。

▶後援会からは、学内外で活躍する学生個人・団体に対し後援会会長賞が授与され、学生の自発的活動の励みとなっている。

2. 学群・学系制の下での「学びの最適化」及び高度化の実現（自信をみがく）

（①学修者本位の教育の更なる進化）

- ▶【人文社会学群】2026年度カリキュラム改定を目指して、学類内の各領域の代表者から構成されるワーキンググループを立ち上げ、最終的に5領域を4領域に絞る検討を行った。現状よりもスリム化されたカリキュラム素案を作成し、最終案を検討中である。
- ▶【心理・教育学群】学群共通科目である4科目について、担当教員の再検討を行うことを通じ、各学類の連携をより意識するように努めた。3学類ともに資格に基づく採用状況が良好である一方で、資格取得を目指さない学生のカリキュラム上の対応については継続して検討を行っていくこととした。
- ▶【健康栄養学群】管理栄養士国家試験対策に関するFDや管理栄養士養成における教育に関するFDを実施するとともに、配慮申請が出されている学生をはじめ、学類所属の学生に対して、教員、実験助手、学生支援室が連携協力し、様々な学修支援を行った。
- ▶【全学】学群における横断的学びの推進と同時に、全学的な取り組みとして学群・学類を超えて専門教育を受けた後の上位学年で学ぶことのできる学際的な教育プログラム「異分野コラボレーション演習」を設定した。また、BYODの推進について、教務課・情報教育推進委員会などが連携し、シラバスFDでも学生にわかりやすく説明するよう促した。

（②教育の質の保証と情報発信）

- ▶内部質保証委員会を中心に、教育の質向上と改善に向けた取組みを行うことで、内部質保証システムの実質化を推進した。
- ▶IRデータを活用したアセスメント・ポリシーの点検やアセスメンターの活用が教育プログラムの改善に繋がるなど、教学マネジメントシステムのPDCAサイクルが機能した。

（③高大接続改革の推進）

- ▶尚絅学院高等学校において高大接続授業を1年間通して実施し、生徒及び高校教員が本学の学びに触れる機会を提供することが出来た。
- ▶尚絅学院高校生のオープンキャンパス参加や高大連携授業の実施が、高校の担当者と大学入試課及び教務課による十分な情報共有・連携の下で行われ、尚絅学院高校との連携強化につながった。
- ▶学校推薦型選抜での評定条件の変更や指定校枠の拡大等、入試制度の見直しを行うとともに、学類の学びや入試制度の周知を行うことで、本学を第一志望とする受験生の確保に努めた。

（④多様な学生への支援体制の整備）

- ▶教職員が学生支援に関する各種研修会に参加し、必要な情報を共有することで、大学全体で学生をサポートする体制の確立に向け、検討を行った。
- ▶多様な学生の入学に伴い、単独課だけの運営には限界があるため、複数課横断型で学生支援を行える体制を構築した。

（⑤学生生活の充実）

- ▶学内体育施設の使用ルールを整備し、学生が安全な環境で安心して施設を使用することが出来るようになったことで、学生の活動の幅が広がった。また、尚学会からの支援による「課外活動助成制度」により、学生の課外活動を経済的に支援することができた。
- ▶正課外の資格取得のための講座を学内で実施するなどし、学生一人ひとりの夢や希望の実現に向けた支援を行った。さらに、資格試験受験料や就職活動交通費補助などを継続実施し、学生の資格取得や就職活動の充実を図った。

（⑥専門分野、大学の「カベ」を越えた資源の活用）

- ▶学都仙台コンソーシアムの単位互換授業や提携校である関東学院大学への国内留学、海外協定大学への海外留学等、学生に対し学外での学修の機会を提供することで、学生の学びの幅を広げることが出来た。

（⑦研究機能の高度化、大学院の充実関連）

- ▶カリキュラムや募集定員の検討を含めた大学院将来構想の検討について、2024年度に各専攻の将来構想検討状況を中間報告としてまとめ、2026年度のカリキュラム改定に向けた検討を継続して進めた。
- ▶社会のニーズに対応した教育の実現に向け、学内教員の幅広い協力を得るため、大学院教育への協

力要請や担当有資格教員の認定によるプール制の具現化を進めた。

- ▶大学院の認知度を上げるため、オープンキャンパスや尚志祭での専攻説明会、公開講演会、大学院生の研究中間発表の実施を行った。さらに、大学院生の学会発表報告や活動紹介等をホームページに随時掲載していくなど、各専攻で様々な取り組みを行ったが、心理学専攻を除き定員確保には届かない結果となった。
- ▶研究機能の高度化を目指し、外部資金を活用した研究を推進するため、所管部署による学内説明会の開催や申請手続き支援を行った。結果として、科学研究費の申請数の増加や寄附講座、奨学寄附金、受託助成金の獲得につながった。

3. 多様な価値観が集まるキャンパス（キャンパスをひらく）

（①地域連携・交流の推進）

- ▶協定自治体である名取市、川崎町、大衡村との継続連携活動に加え、宮城県選挙管理委員会、仙台市太白区、こだま・秋保バレー協議会など新たな連携事業も開始し、学生が地域課題に取り組む機会を多く提供した。
- ▶地域連携交流プラザでは生涯学習講座のほか、健康栄養学類挑戦プログラムのポスター展示、ゼミ発表会、学生クリスマスイベントなどを開催した。延べ 6,000 名以上の来場者があり、本学の教育研究成果を地域に還元することができた。
- ▶地域連携交流プラザを閉館し、新たに長町駅前たいはっくる内に「尚絅学院大学長町サテライトプラザ」を新設した。

（②国際交流の推進）

- ▶留学に向けた学生支援として、給付型奨学金は前年に引き続き JASSO 海外留学支援制度に協定校留学プログラムが採用され、新たに 3 名の学生を支援した。韓日共同高等教育奨学金にも 1 名採用され、学生に対する経済的支援が充実した。

（③世代を越えた「知識の共通基盤」の構築）

- ▶生涯学習講座に加え、社会人を対象としたオンデマンド型講座を実施し、延べ 1,600 人以上の市民が受講した。履修証明プログラムは教学推進委員会と連携し検討した。

（④スポーツ交流の推進）

- ▶スポーツ教室に述べ 2,300 人が参加した。2 月には宮城県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の研修会を本学で開催した。

（⑤教育・研究活動の成果の社会への発信と情報公開の推進）

- ▶情報の発信及びステークホルダーの情報へのアクセスが適切に行えるよう、ホームページの構成を整えた。結果として記事アクセス数が増加した。また、全学的な情報発信に対する啓発を行い、プレスリリースに力を入れた結果、メディア掲出件数も飛躍的に増加した。
- ▶市町村や公民館との共同イベントや公開講座、各種企画展を実施した。特に、名取市図書館とは、図書館内に尚絅学院大学教員コーナーの新設や、図書館主催の講演会へ本学教員を講師として定期的に派遣する等の連携体制が構築された。

（⑥教育・研究を支える基盤の構築）

- ▶学生が学内で長く過ごせる環境を整備するため、ラーニングステーションを増設リニューアルした。学生の自主活動や教員とのゼミ活動での活用等、学生と教員の交流の場としても機能している。
- ▶学内 DX 化に向けた取組として、ペーパーレス化は学内で浸透してきており、紙や印刷コストの削減と共に業務の効率化につながっている。一部議事録に AI 活用による自動作成も開始した。
- ▶BYOD の本格稼働に向けて、学内 Wi-Fi の整備を継続して行ってきたが、授業に十分耐えうる環境には至っておらず、継続検討・整備が必要である。
- ▶大学を取り巻く環境や課題に対応するため、教育研究及び学生支援に関する FD を計 7 回（授業公開含む）実施した。また、SD も開催し、教職員に必要な知識の共通認識を醸成することに努めた。

2 事業報告

2024 年度 中学校・高等学校 事業報告

1 はじめに

自ら考え主体的に行動できる生徒を育てるために日々の教育活動を行った。今年度より、生徒の服装を制服・私服選択可とした。大きな問題ないが、「学校生活にふさわしい、清潔で華美を避けた服装を、生徒各人の良識ある判断で選択する」ことができるように育てる必要がある。現学習指導要領の高校における完成年度であることに付随して、帳票や教育課程の見直しなどに着手し、カリキュラム・マネジメントのPDCAサイクルを働かせる仕組みを構築した。高校の入募状況は好調であったが、生徒減の影響を早く受ける中学校は厳しく、中学校検討チームを委嘱して教育改革に着手している。

2 目標

- (1) キリスト教を土台として、人間のあり方を探り、他者と共に生きる生徒を育てる。
- (2) 社会や時代の要請にこたえ、未来を切り拓くたくましい生徒を育てる。

3 方針

- (1) 自分を愛し人を愛する、真に自律した心優しい生徒を育てる。
- (2) 国際教育の充実を図り、国際社会の一員として生きる生徒を育てる。
- (3) 学力の3要素（知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性）の着実な向上を図る。
- (4) 生徒一人ひとりの賜物を活かす、進路目標の実現を支援する。
- (5) 学校の魅力を広く周知し、「選ばれる私学」（第一希望で入学したい学校）となり、より多くの志願者を確保する。
- (6) 尚絅学院大学との連携を推進し、教育活動のさらなる充実と発展を図る。
- (7) 地域連携・地域貢献を推進し、地域に愛され、地域の誇りとなる学校をめざす。
- (8) 教職員が協働して、教育の質の向上をめざし、教育活動に取り組む。
- (9) 生徒が安心・安全に生活できる学校環境づくりを行う。

4 2024 年度事業計画

- (1) 自分を愛し人を愛する、真に自律した心優しい生徒を育てる。
 - ① 生徒による讃美礼拝を実施し、献金活動等を部活動などと連携して行った。クリスマス礼拝において7年ぶりに降誕劇のページェントを復活させた。
 - ② 平和七夕の取り組みを全校で実施し、また花の日・収穫感謝礼拝において施設訪問を実施することができた。
 - ③ 夏休みボランティア体験会に延べ122名の生徒が参加した他、多くの生徒が様々なボランティア活動に参加した。服装選択制初年度における生徒の様子は想定範囲内。今後も教員の意識の共有や生徒会との連携が必要。
 - ④ 総進コースの朝活動や総合的な探究の時間(以下、「総合探究」)にスピーチや成果発表を設け、各人が複数回実践できた。総合探究の取り組みや夏期教員研修における小論文指導の学びが奏功し、生徒の表現力が向上した。
- (2) 国際教育の充実を図り、国際社会の一員として生きる生徒を育てる。
 - ① 豪州夏季短期留学、イサベル短期留学受入れに多くの生徒が参加し、長期留学3名を受入れ、全校集会での報告会や交流会等、国際交流プログラムが活発に行われた。
 - ② 高校修学旅行での恩納村SDGs探究プログラムに生徒が意欲的に参加した。被災地支援に関する講演を聞き、奉仕活動につなげた。カンボジア・スタディーツアーのプログラムを一新し、再開を実現した。
 - ③ 本校を準会場としての英検実施およびオンライン英会話授業を継続。英語4技能向上取り組み開始3年目

にあたり、英検合格者(資格取得者)数の実態を把握中。

- ④高校生3名が中期留学に参加予定(中学生はなし)。費用高騰の影響あるとみられる。長期留学は1名が修了して帰国。

(3) 学力の3要素(知識・技能, 思考力・判断力・表現力, 学びに向かう力・人間性)の着実な向上を図る。

- ①朝学習の取組みの環境整備に努め(文理・学年)、生徒の学習実態を把握した上で目標達成を見据えた課題設定や予復習の習慣を定着させる指導ができた(特進)。コロナ禍以降、欠席数や転出者数の高止まりは依然課題。
- ②教科指導に対話やグループワークを取り入れることで、理解力や能動性などの向上に一定の効果あり。
- ③低学年は学習の「型付け」、上級生は進学の意識の高まりで落ち着いて学習に向かえた(中学)。学習プラットフォーム等の活用により、生徒が学習時間を自己管理できている(総進・文理)。授業・課外講習では教科担当者のきめ細やかな指導により進度確保・学力確保を達成、自学プログラムへの集中した取組により学習習慣の確立をはかっている(特進)。
- ④担任団を中心に新たに作成した独自の総合探究教材・テキストを用いることで、進路や地域課題について主体的に考える姿勢が涵養され、体系的な学びを深めることができている(特進)。
- ⑤公開授業を実施し、授業評価アンケートの集約を早めに行うことで、相互講評会で活用できた。小論文指導の研修については上述。

(4) 生徒一人ひとりの賜物を活かす、進路目標の実現を支援する。

- ①進級時、個々の学力に配慮したクラス替えを実施。2年後期に志望校検討会議で担任と情報共有(文理)。大手塾などの進路情報を活用し、各学年生徒に25年度以降の入試情報・模試分析を提供(特進)。学年ごとの段階的な指導計画に基づき進路指導を実施。行事等が立て込み、こなすことに精いっぱい印象あるため、有効活用できているかの検討は今後必要(進路部)。
- ②様々な教育関連業者主催のセミナー情報を教員に発信(進路部)。PTAを通して保護者に対し25年度以降の入試情報を提供(特進、上述)。新課程に対応した調査書の新様式へのシステム移行はスムーズに完了(教務部)。
- ③進学フェスからオープンキャンパスの参加を促す流れを構築(総進)。高1特進・文理で東北大のオープンキャンパス訪問を実施。首都圏大学訪問代替の東京12大学フェアの全員参加を検討したが、模試日程の関係で実現できず。次年度以降に向けて再検討必要(進路)。
- ④各コースで3年間を見通した進路指導を行い、より高いレベルの進路目標達成を実現する。

総進：各種検定等を活用し、総合型・学校推薦型選抜による、より幅広い進路を実現する。国公立大複数合格。中堅～難関私大の合格者を出す。

多様な進路実現に向け丁寧な指導を実施。私立大学決定者100名。

文理：一般選抜に加え、総合型・学校推薦型選抜も利用して進路を実現する。中堅私大に一般選抜で全員合格できる学力保証。国公立・難関私大合格10%以上。

早期指導により総合型・公募受験者が健闘。国公立大学決定者15名(12%)。

特進：一般選抜を軸として、高いレベルの進路を実現する。難関国公立大複数合格。国公立大合格60%以上。

国公立大学等決定者22名(61.1%)。うち東北大学2名。

- ⑤例年よりもスムーズに配信・実施を各部署が行うように整備されてきた。

(5) 学校の魅力を広く周知し、「選ばれる私学」(第一希望で入学したい学校)となり、より多くの志願者を確保する。

- ①中学は応募者26名、入学手続き者24名。高校は推薦・内進者で125名、一般入試志願者2,060名と目標を達成。入学者数は382名となった。
- ②高校一般入試でマークシートと記述式の併用(ハイブリッド入試)を採用。作業チームが計画的かつ入念に準備を進め、スムーズに実施できた。

③GIGA サポーター(ICT 支援員)の助言も得て、中学校の募集行事参加者に出願を後押しする「合格セット」の送付を開始。募集活動への SNS の活用についてさらに模索している。

④生徒募集活動において入試の変更点の周知を滞りなく行った。中学生による母校訪問を実施。塾とは例年並みの訪問により、連携を維持した。

(6) 尚絅学院大学との連携を推進し、教育活動のさらなる充実と発展を図る。

高1 総進で OC 大学訪問を3 回にわたり実施。尚志祭のタイミングでは課題もあった。高2 での高大連携授業(模擬授業)を経て、高3 教員向け説明会を早期に実施。高大連携授業(COLABO)初年度。受講生との参加度と満足度を上げ、さらなる充実をはかるために、高大関係者で打ち合わせを複数回持った。次年度の受講者は48 名。尚絅学院大学の受験生も増加。出願者22 名中、COLABO 受講者15 名。

(7) 地域連携・地域貢献を推進し、地域に愛され、地域の誇りとなる学校をめざす。

①宮城大学とアントレプレナーシップ・ワークショップを開催。生徒20 名が参加し、その後も大学との結びつきを継続している。

②仙台国際ハーフマラソン・ボランティアに116 名が参加。インターアクト部が広瀬川や八幡地区の清掃活動に協力し、ロータリークラブのビーチクリーンやリレーマラソン等に参加。応援団(チア)が八幡さくらまつりに参加。総進コース3 年が奉仕活動として学校周辺の清掃を実施した。

③企業探究・修学旅行探究のノウハウを生かし、3 月に宮城の課題探究を予定(総進・文理2 年)。

(8)教職員が協働して、教育の質の向上をめざし、教育活動に取り組む。

①学年団を中心に、生徒指導を受けている生徒についての共通理解を図っている。「心に残る式典」の実施と業務の効率化を図りながら準備を進めてきた。入試から学籍システムへの生徒データ移行の改善、教育プラットフォームや Web 入試システム等についての整理は課題。

②現行学習指導要領に基づく高校教育課程が完成年度となり、コース・教科からの総括をもとに、より良い教育課程へのアップデートを目指して再構築中。

③授業評価の内容を改善して2 年目。多くの教員がアクティブラーニングを授業に取り入れている。教育プラットフォームを活用して学校評価アンケートを効率的に進めた。

④予算の執行状況を把握して予算組み替えを実施。入学者増について、予算内で対応できなかったものについては稟議などにより対応した。

(9) 生徒が安心・安全に生活できる学校環境づくりを行う。

①見回りや声がけにより、朝の学習環境を整備。集中して朝学習に取り組んでいる。

②保健室利用状況を基に、関係部署間の情報交換を密に行い、不調を抱える生徒の早期発見と解決の支援を行った。性教育、薬物乱用防止、熱中症予防教室を実施し、定期的に計測や各種健診結果のフィードバックを行った。受診報告書の提出については継続して声がけしている。

③生活アンケートの実施等により、いじめの未然防止・早期発見・迅速な対応に努めた。情報リテラシー教育については今後も教員が共通意識を持つことが必要。

④トイレへのナプキンの設置により、「生理の貧困」のような人権にかかわる課題への取り組みを継続。

⑤防災避難訓練を年2 回実施。休み時間中の火災発生を想定した訓練を初めて行い、課題点を洗い出すことできた。避難の際特別な支援を必要とする生徒については、関係部署で連絡を図りながら実施。教職員対象の救命救急講習も計画通り実施。

⑦清掃用具の定期的点検・補充を実施。安全計画に沿った対応・整備を行い、特に樹木の点検、整備(伐採)を専門業者に委託して実施した。

2 事業報告

2024 年度 幼稚園事業報告

1. キリスト教保育

キリスト教精神及び建学の精神に基づいて、人間教育を理念とし、一人ひとりの子どもたちを大切に、より充実した保育を目指す。

＜総括＞

- 理事長（学院長）、宗教主任、大学教員の協力を得て、季節折々の行事（花の日礼拝、収穫感謝礼拝、クリスマス礼拝、イースター礼拝等）において礼拝を守ることができた。花の日礼拝、収穫感謝礼拝は大学礼拝堂にて行い、多数の保護者の参加を得ることができた。クリスマス礼拝はコロナ禍前と同様に降誕劇と礼拝、卒園児の保護者も参加するサークルの音楽会、親子でのプレゼント交換など思い出に残る時間を過ごした。
- 日々の保育においては毎昼食時の感謝の祈り、また各種行事等で礼拝を守り、こども賛美歌や絵本での学びを通して神への感謝の心を育てることができた。
- 大学礼拝堂での礼拝や年長児の中高礼拝堂での卒園礼拝など、園児がキリスト教を身近に体験できる活動を実施した。
- 教員は毎日の朝会で祈りを捧げるにより心を整え、一日の保育に臨んだ。週1回以上開催する教職員会議においても祈りを持って開始した。
- キリスト教保育連盟主催の研修会には残念ながら参加することができなかった。
- 宗教主任には、各種行事、職員朝会、保護者懇談会等での礼拝に協力していただいた。また毎月保護者向けに発行している「園だより」に聖句やメッセージを寄稿していただいた。

2. 保育の充実

季節を感じる豊かな自然環境の中で一人ひとりの園児が自分らしく輝き、遊びを通して自らの世界を広げ、発達するよう支援する。また、より充実した保育を実現するために、研修や研究活動を重視する。

＜総括＞

- 園児の安全に配慮しつつ、季節感あふれる園内外での遊びを通して子どもの直接体験を重視し、遊びと学びを豊かにするカリキュラムを作成し遂行した。
- 本園が大切にしてきた保育観を確認・共有し、より一層の保育の充実を図る研修会などの時間を確保することは困難であった。
- 特別な支援を必要とする子どもの保育の充実・発展を目指し、教員間での情報交換と話し合いをこまめに行った。また、保護者との連絡を密に行った。
- 夏休み期間を利用し保育力を向上させるための園内研修を行った。
- 日常業務においては掲示板を用いての情報共有や日誌形式による情報共有を行った。
- 未就園児の会「くるみ」の保育を満3歳児保育とも連動させつつ維持・発展させることができた。ただし少子化にコロナ禍での「産み控え」の影響は大きく未就園児数は少人数に留まった。
- 外部研修会への参加は夏休み期間に教員2名が地区研修会に参加できたのみである。

3. 保育環境の整備・充実とセキュリティーの向上

施設・設備の整備・充実に努め、安心・安全で豊かな保育環境を構築していく。

＜総括＞

- 老朽化している施設設備を細やかに点検し、安全を確保できる保育環境を整えた。園庭斜面の樹木の点検、伐採、蜂の巣の撤去、手すりや石段の整備など行った。子どもたち並びに教職員への安全教育として2回の避難訓練、交通安全教室を実施した。
- 園庭の状況、砂場や遊具などを日常的に点検し、安全を確保した。
- ハラスメント防止研修会へ参加した。
- 送迎バスの安全運行ならびに設置した安全装置を活用し、園児の乗降確認を業者と協力

して行った。

- 健康栄養学類の協力を得て氷の提供を受けることができた。これによって夏季期間の園児の飲料の衛生管理を行うとともに、子どもたちの日々の水分補給やおやつ作りを行うことができた。
- 本年も警備室の協力を得ながら個人送迎の安全を維持することができた。
- 園舎周囲に設置した防犯カメラにより、警備室及び学院事務局の協力を得ながら、不審者対策を強化することができた。

4. 大学附属幼稚園としての役割

附属幼稚園として教育実践・教員養成・職員研修等を大学と一体となって進めてきたが、これを継続して進め、幼稚園教育の発展に貢献する。

＜総括＞

- 尚絅学院大学から2名の教育実習生を受け入れた。
- 保育者養成課程の学生、心理学類の授業「フィールドワーク」の学生の見学、公認心理師課程の実習の受け入れ、子ども学類1年生の「基盤演習Ⅱ」で園の見学を2週にわたって受け入れた。見学の後、質疑応答を行った。
- 大学教員による職員研修の機会を作ることはできなかった。次年度の課題としたい。
- 現評議員で名誉教授の斎藤紘一先生による夏季休暇期間の化学教室1回、パトリック先生の英語教室を毎月1回ずつ開催することができた。また心理学類小泉先生と宮城教育大学教員の科研費補助金による共同研究調査へ保護者の承諾を得た上で協力した。卒業生でもある本宮先生のリトミックダンス研究についても協力を行っている。子ども学類安藤先生のコマ回し教室、相馬ゼミの学生によるシャボン玉遊び、大学児童文化部学生とのお楽しみ会も行うことができた。

5. 保護者参加型幼稚園の推進

保護者との連携をさらに深め、幼児教育の共同の担い手としての保護者とともに歩む。

＜総括＞

- 保護者と教師の会の活動をこれまでと同様に行った。具体的には保護者による活動として、月1回のPTA役員会、その準備のための五役会の開催、日常的な図書の貸し出し、ハッピーランドでのマルシェ（バザー）、クリスマスのプレゼント作りの取り組みがあげられる。あわせて花の日礼拝では卒園児の保護者も参加する合唱サークル・コールシャロンが讃美し、合奏サークル・クロレも演奏した。合奏サークル・クロレはハッピーランドで里山コンサート、クリスマス礼拝において園児たちに演奏を聞かせてくれた。
- 年2回の保護者懇談会の開催。日常的には「保育参加参観」をできる限り受け入れている。本年の保育参加参観者数は2月12日現在のべ164名である。保護者と教員の信頼関係を築く上でも大きな役割を果たしていると考えている。
- ブログやレーザーキッズで行事ごとに動画や写真を発信させることができた。
- 少子化にともない保護者と教師の会の在り方について五役会やPTA役員会で検討を重ねた。次年度は過渡期と考え名称や会費をそのままにし、係の一部をサークル化し在園児保護者と卒園児保護者が参加できるようにしてみる方向である。
- 昨年同様、おやじの会を開催することができた。年1回ではあるが今後も継続していきたいと考えている。
- 大学教員、名誉教授の協力を得た保護者向けのセミナーについては開催に至らず企画の段階にとどまっている。次年度の課題とする。

6. 預かり保育の充実

保護者からの要望が強い預かり保育の維持・発展に努める。

＜総括＞

- 預かり保育を必要とする家庭を支援するため、できるだけ多くの日数で実施した。
- 本年は保育者の確保が難しかったこともあり、当初は専任教員4名によるサポートチームを組んだが教員1名の退職により、運用は難しいものとなった。異年齢保育の良さを生かした保育内容の充実を図るまでに至らなかった。

7. 地域に開かれた幼稚園の推進

地域に開かれた幼稚園となるため、地域との連携をさらに深める。

＜総括＞

- 令和7年より西多賀病院の連携園となることとなった。
- 地域に居住する卒園児の学童保育については検討を継続する。また長期休暇中の各種教室などの企画については企画段階で実施に移すことはできなかった。
- 地域住民との連携の在り方については今後も検討を継続する。
- みどり台中学校2年生2クラスの「家庭科 保育体験学習」の受入、名取北高生の見学とその後の質疑応答の時間を持った。

8. 安定した保育体制の構築

保育実践の維持・向上を目指して、力量ある人材の確保・定着化を促進する。

＜総括＞

- 建学の精神に基づいた教育方針、教育目標を達成するためには安定した保育体制が必要であるが満足している状態とは言えない。その中にあって現教員は充実した保育ができるように日々健闘している。しかし専任教諭数が確保できていないため園外の研修会などでの学びの機会を得ることはできていない。
- さらに職員間のコミュニケーションをより密にするとともに切磋琢磨し保育力の向上と働き続けやすい職場環境づくりを目指す保育環境づくりの構築を目指す。

2 事業報告

2024 年度 事務局事業報告

I 事務局目標

職員が利他的（相手の立場になって）に考え、主体的に行動し、求められていることを実現できる組織を目指す。

II 事務局方針

1. 法令等に基づいた対応を遺漏ないように実施する。また、学院の将来計画を定める。
 - ①2025 年度施行の改正私学法に向け、寄附行為が認可された。寄附行為変更に伴う関係規程の改正を行ったほか、内部統制システムを整備した。
 - ②2024 年 10 月に公益財団法人日本高等教育評価機構による認証評価を受審し、その結果 2025 年 3 月に「大学評価基準に適合している」と認定された。
 - ③建学の精神と学院のミッションを踏まえたビジョンに 4 つのポリシーを定め、単年度事業計画との整合性を図る第 5 次中期計画（2025～2029 年度）を策定した。
2. 等級制度を基軸として評価制度、育成制度及び処遇制度を機能的に連動させた人事制度の定着を図り、人材を育成する。
 - ①事務局人事計画を踏まえた事務局方針と体制を検討し、事務職員に共有した。また、2040 年度までの学院全体の人事動向を作成し、人事計画の素地を作った。
 - ②事務職員の目標管理では、目標設定及び目標遂行状況の振り返るための中間コミュニケーション、フィードバック面談及びコーチングを通し、職員の育成を図った。
 - ③初任者、階層別、派遣及び e-ラーニング等の研修に加え、事務職員として必要なリスクマネジメント・クライシスマネジメントを学ぶ研修を開催し、資質を高めた。
 - ④人材派遣、人材交流及び大学院への派遣を検討したが、目的、達成尺度、交流・派遣時の代替措置など課題解決が必要であることから、慎重に進めることにした。
 - ⑤学校職員としての社会的責任、それを守るための体制・意識を学び、また、事務管理監督職位者は、私学法改正で求められている内部統制システムの理解を深めた。
3. 建学の精神を継承する。
 - ①礼拝及び建学の精神研修会への意識が高まり積極的な参加があった。また、同窓会主催のハ三会（ブゼル先生の墓前礼拝）への参加を推奨し、職員が参加しやすい環境を整えた。
4. 相互理解、協働によって業務遂行の効率化、高度化を進める。
 - ①事務組織のスリム化と大括り化を前提に検討したが、業務分掌や役割分担等の再整備もあり、2026 年 4 月を目指し事務管理職会議で再編に取り組むことにした。
 - ②「報告」「連絡」「相談」を慣習化し、One on One ミーティングを年 4 回実施した。コミュニケーションによる相互理解が図られ円滑な業務遂行に寄与した。
 - ③業務相談窓口の周知を行った。メンター制度は、初任者、若手職員間の関係構築ができており、現在の運営状況を踏まえて再検討することにした。
 - ④会議資料のペーパーレス化をはじめ、休暇取得申請、年末調整の Web 処理、学納金口座の web 登録、代表電話の自動音声システム IVR の導入、入学者選抜手続の電子化、生涯学習講座受講管理システム導入に伴う電子決済処理の実現など DX 化を推進し、利用者の利便性の向上と業務効率化やコスト削減を行った。今後、理事会・評議員会等の会議資料のデータ化の可能性や AI の活用も追求したい。
 - ⑤事務品質・サービスの価値を高めるため、「個人情報と情報セキュリティ」と「リスクマネジメント研修」を実施した。多くの情報資産を保有する教育現場のリスクの予防法や発生時の対応を学び、安全と信頼性の維持のための目的を理解した。

5. 「働き方改革」を踏まえた業務を行う。
- ①時間外労働の削減、ノー残業デーの推進及び年次有給休暇の5日取得の周知を図り、ワークライフバランスへの意識付けを行った。また、時間外労働及び在校時間の適正把握に努め、業務指導の一助にした。
 - ②ハラスメント防止研修会を開催した他、メンタルヘルスケア、健康診断及びストレスチェックの受診を継続的に呼びかけ健康経営を促進し、健康相談日を希望に応じて実施できる体制を整備した。
6. 社会に向けて学院の取り組みを発信し、「SHOKEI」ブランドを確立する。
- ①学院の取り組みを社会に発信したが、今後の学院のブランド戦略の在り方並びにホームページの見直しに着手するまでには至らず、継続課題となった。
 - ②SNSを活用し、学内外での取り組み内容をPRする他、プレスリリースやホームページ更新に力を入れ、積極的な広報活動を行った。
 - ③10回目の節目となった尚絅音楽祭、里山再生プロジェクトの定期活動の他、ゆりが丘公民館主催イベントへの参加により、地域の方々との交流、連携を図ることができた。また、同窓会大学支部と連携し、ホームカミングパーティーを開催した。

2 事業報告

2024 年度 財務報告

今年度は、教育活動において、人件費が補正予算に比較して 30,499 千円減少し、教育研究経費が同じく 47,575 千円減少したことなどから、教育活動収支は補正予算を 65,031 千円上回る 76,633 千円の黒字となった。

また、教育活動外収支は、受取利息配当金による収入 36,280 千円に対し、支出の借入金利息が 10,744 千円で、25,536 千円の黒字となったことから、経常収支では 102,170 千円の黒字となった。

これに特別収支の黒字 7,917 千円を加えた基本金組入前当年度収支も 110,087 千円の黒字となり、補正予算に比べ 78,857 千円の大幅な増加となった。

しかし、新入生は高校を除く学校が定員割れとなっており、学院全体としての定員確保に向けた取り組みの継続に加え、業務のスクラップ＆ビルドなどの収支改善努力が今後も不可欠である。

さらに、かねてから懸案となっている人件費比率は今年度も 63% 台の高い水準にあり、カリキュラムの検討による非常勤講師の持ち時間減少や教職員数の適正化等の施策は、今後も継続していく必要がある。

なお、元常務理事の不祥事に伴う市中銀行からの借入金は、計画通り差し引きで 1 億円の返済を行い、残高は 3 億円となった。

また、今年度の財務方針の冒頭に掲げたように、厳しい財政状況にあっても、施設設備の充実を図り、学生・生徒・園児の学習環境を守っていくことが当学院としての責務であることから、大学においては教務システム基盤更新（19,470 千円）、中高においてはテニスコート整備（2,530 千円）などの工事を実施した。

3. 財務運営の状況

3-1 資金収支の状況

科 目		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
収入の部	学 生 生 徒 等 納 付 金 収 入	2,926,991 千円	2,812,303 千円	2,778,563 千円	2,742,358 千円	2,739,179 千円
	手 数 料 収 入	73,314	64,152	51,943	51,826	47,518
	寄 付 金 収 入	67,332	42,201	105,493	44,965	40,924
	特 別 寄 付 金	33,140	8,201	65,817	4,294	3,027
	一 般 寄 付 金	34,192	34,000	39,676	40,672	37,897
	補 助 金 収 入	674,505	775,356	710,963	807,357	807,448
	国 庫 補 助 金	286,525	392,688	319,225	416,591	400,276
	地 方 公 共 団 体 補 助 金	387,980	382,668	325,729	325,106	339,086
	施 設 型 給 付 費 収 入	-	-	66,009	65,660	68,086
	資 産 売 却 収 入	27,043	0	100,000	33	0
	付 随 事 業 ・ 収 益 事 業 収 入	12,239	15,058	19,398	19,777	19,108
	受 取 利 息 及 び 配 当 金 収 入	14,048	21,455	31,383	35,609	36,281
	雑 収 入	64,461	139,582	146,523	226,517	131,684
	借 入 金 等 収 入	0	0	1,000,000	400,000	300,000
	前 受 金 収 入	478,266	477,889	483,463	468,686	412,616
	そ の 他 の 収 入	171,623	541,068	456,962	509,538	430,428
	資 金 収 入 調 整 勘 定	△ 569,458	△ 608,176	△ 630,545	△ 675,382	△ 583,342
	前 年 度 繰 越 支 払 資 金	2,192,422	2,138,207	2,159,007	2,079,129	2,197,977
合 計		6,132,786	6,419,095	7,413,153	6,710,413	6,579,822
科 目		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
支出の部	人 件 費 支 出	2,420,132 千円	2,558,671 千円	2,569,754 千円	2,578,540 千円	2,441,452 千円
	教 育 研 究 経 費 支 出	691,814	689,346	766,827	783,763	722,532
	管 理 経 費 支 出	210,205	205,462	225,810	205,576	200,391
	借 入 金 等 利 息 支 出	10,097	9,403	11,914	12,444	10,744
	借 入 金 等 返 済 支 出	138,880	138,880	638,880	638,880	538,880
	施 設 関 係 支 出	196,886	14,912	134,276	26,196	23,272
	設 備 関 係 支 出	107,994	84,712	79,497	76,876	51,801
	資 産 運 用 支 出	216,074	271,039	418,202	105,598	218,010
	そ の 他 の 支 出	155,417	376,225	612,967	194,920	174,581
	資 金 支 出 調 整 勘 定	△ 152,920	△ 88,562	△ 124,103	△ 110,357	△ 66,047
	次 年 度 繰 越 支 払 資 金	2,138,207	2,159,007	2,079,129	2,197,977	2,264,206
	合 計	6,132,786	6,419,095	7,413,153	6,710,413	6,579,822

3-2 活動区分資金収支の状況

科 目		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	2,926,991 千円	2,812,303 千円	2,778,563 千円	2,742,358 千円
		手数料収入	73,314	64,152	51,943	47,518
		特別寄付金収入	33,140	8,201	15,817	3,027
		一般寄付金収入	34,192	34,000	39,676	37,897
		経常費等補助金収入	660,768	751,471	705,190	805,929
		付随事業収入	12,239	15,058	19,398	19,108
		雑収入	64,461	139,582	146,524	198,239
		教育活動資金収入 計	3,805,105	3,824,767	3,757,111	3,863,095
	支出	人件費支出	2,420,132	2,558,671	2,569,754	2,578,540
		教育研究経費支出	691,814	689,346	766,827	783,763
		管理経費支出	210,205	205,462	225,810	205,576
		教育活動資金支出 計	3,322,151	3,453,479	3,562,391	3,567,879
		差引	482,954	371,288	194,720	295,215
		調整勘定等	△ 25,937	△ 52,987	22,181	△ 110,077
		教育活動資金収支差額	457,017	318,301	216,901	185,138
施設整備等活動による資金収支	科 目		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	収入	施設設備寄付金収入	0	0	50,000	0
		施設設備補助金収入	13,737	23,885	5,773	1,427
		施設設備売却収入	25,000	0	0	33
		施設整備等活動資金収入 計	38,737	23,885	55,773	1,460
	支出	施設関係支出	196,886	14,912	134,276	26,196
		設備関係支出	107,994	84,712	79,497	76,876
		減価償却引当特定資産繰入支出	4,052	5,545	6,221	6,222
		施設整備等活動資金支出 計	308,932	105,169	219,994	109,293
		差引	△ 270,195	△ 81,284	△ 164,221	△ 107,832
		調整勘定等	32,592	△ 48,730	20,851	△ 7,099
		施設整備等活動資金収支差額	△ 237,603	△ 130,014	△ 143,370	△ 114,932
	小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)		219,414	188,287	73,531	322,359

科 目		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
その他の活動による資金収支	収入					
	借入金等収入	0	0	1,000,000	400,000	300,000
	有価証券売却収入	2,043	0	100,000	0	0
	退職金引当特定資産取崩収入	31,618	162,555	183,434	215,647	165,109
	奨学資金引当特定資産取崩収入	7,400	4,400	5,020	1,900	0
	チャペル基金引当特定資産取崩収入	75	0	0	0	0
	里山再生基金引当特定資産取崩収入	300	5,037	19,663	0	0
	岡崎有里修学支援金引当特定資産取崩収入	0	0	0	7,500	2,501
	貸付金回収収入	26,026	20,874	19,659	14,185	8,654
	預り金受入収入	9,442	33,528	0	40,359	5,848
	仮払金受入収入	41,750	245,083	36,762	41,108	36,848
	立替金受入収入	8,106	19,251	17,514	26,182	19,548
	敷金返還収入	0	0	0	10,000	0
	小計	126,760	490,728	1,382,052	756,881	538,509
	受取利息・配当金収入	14,048	21,455	31,383	35,609	36,281
	損害賠償請求金収入	0	0	45,000	0	0
	過年度修正収入	0	0	0	28,278	46
	その他の活動資金収入 計	140,808	512,183	1,458,435	820,768	574,836
	支出					
	借入金等返済支出	138,880	138,880	638,880	638,880	538,880
	有価証券購入支出	100,000	200,000	250,000	98,285	0
	退職金引当特定資産繰入支出	55,062	63,109	150,364	1,081	211,163
	奨学資金引当特定資産繰入支出	31,940	2,385	1,617	10	608
	チャペル基金引当特定資産繰入支出	19	0	0	0	0
	里山再生基金引当特定資産繰入支出	25,000	0	0	0	0
	岡崎有里修学支援金引当特定資産繰入支出	0	0	10,000	0	1
	貸付金支払支出	1,000	2,500	2,400	3,540	1,000
	預り金支払支出	0	0	41,470	0	0
	仮払金支払支出	41,713	245,036	431,807	41,014	36,889
	立替金支払支出	9,973	18,327	16,591	25,931	19,708
	敷金・保証金支払支出	0	0	10,000	0	990
	小計	403,587	670,237	1,553,129	808,741	809,239
	借入金等利息支出	10,097	9,403	11,914	12,444	10,744
	過年度修正支出	0	0	0	0	10,394
	その他の活動資金支出 計	413,684	679,640	1,565,043	821,185	830,377
	差引	△ 272,876	△ 167,457	△ 106,608	△ 417	△ 255,541
	調整勘定等	△ 753	△ 30	△ 46,801	49,058	△ 590
	その他の活動資金収支差額	△ 273,629	△ 167,487	△ 153,409	48,641	△ 256,131
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)		△ 54,215	20,800	△ 79,878	118,848	66,229
前年度繰越支払資金		2,192,422	2,138,207	2,159,007	2,079,129	2,197,977
翌年度繰越支払資金		2,138,207	2,159,007	2,079,129	2,197,977	2,264,206

3-3 事業活動収支の状況

科 目		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
教育活動 収入	事業活動収入の部					
	学 生 徒 等 納 付 金	2,926,991 千円	2,812,303 千円	2,778,563 千円	2,742,358 千円	2,739,179 千円
	手 数 料	73,314	64,152	51,943	51,826	47,518
	寄 付 金	68,537	42,201	57,527	44,965	41,739
	経 常 費 等 補 助 金	660,768	751,471	705,190	805,929	797,908
	付 随 事 業 収 入	12,239	15,058	19,398	19,777	19,108
	雑 収 入	64,461	134,114	96,418	167,075	109,525
	教育活動収入計	3,806,310	3,819,299	3,709,039	3,831,930	3,754,978
	事業活動支出の部					
	人 件 費	2,446,828 千円	2,543,286 千円	2,496,009 千円	2,533,709 千円	2,399,323 千円
	教 育 研 究 経 費	1,056,088	1,067,025	1,122,974	1,135,901	1,078,167
	管 理 経 費	219,703	214,900	235,420	214,556	199,305
	徴 収 不 能 額 等	0	0	0	0	1,549
	教育活動支出計	3,722,619	3,825,211	3,854,403	3,884,166	3,678,344
	教 育 活 動 収 支 差 額	83,691	△ 5,912	△ 145,364	△ 52,236	76,633
教育活動 外収支	事業活動収入の部					
	受 取 利 息 ・ 配 当 金	13,491 千円	21,409 千円	31,383 千円	35,609 千円	36,281 千円
	その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
	教育活動外収入計	13,491	21,409	31,383	35,609	36,281
	事業活動支出の部					
	借 入 金 等 利 息	10,097 千円	9,403 千円	11,914 千円	12,444 千円	10,744 千円
	その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
	教育活動外支出計	10,097	9,403	11,914	12,444	10,744
	教 育 活 動 外 収 支 差 額	3,394	12,006	19,469	23,165	25,537
	経 常 収 支 差 額	87,085	6,094	△ 125,895	△ 29,071	102,170
特別 収支	事業活動収入の部					
	資 産 売 却 差 額	10,061 千円	0 千円	0 千円	33 千円	0 千円
	そ の 他 の 特 別 収 入	16,846	24,693	106,667	34,348	21,537
	(うち、現物寄付)	3,109	808	5,774	4,573	9,739
	特別収入計	26,907	24,693	106,667	34,381	21,537
	事業活動支出の部					
	資 産 処 分 差 額	1,593 千円	5,426 千円	19,889 千円	2,694 千円	3,226 千円
	そ の 他 の 特 別 支 出	26,642	0	395,000	0	10,394
	特別支出計	28,235	5,426	414,889	2,694	13,620
	特 別 収 支 差 額	△ 1,328	19,267	△ 308,222	31,687	7,917
基本金組入前当年度収支差額		85,757	25,361	△ 434,117	2,616	110,087
基本金組入額合計		△ 330,727	△ 162,673	△ 239,023	△ 177,527	△ 181,624
当年度収支差額		△ 244,970	△ 137,312	△ 673,140	△ 174,911	△ 71,537
前年度繰越収支差額		△ 4,689,003	△ 4,933,973	△ 5,071,285	△ 5,744,425	△ 5,919,336
基本金取崩額		0	0	0	0	0
翌年度繰越収支差額		△ 4,933,973	△ 5,071,285	△ 5,744,425	△ 5,919,336	△ 5,990,873
(参考)						
事業活動収入計		3,846,708 千円	3,865,401 千円	3,847,089 千円	3,901,921 千円	3,812,795 千円
事業活動支出計		3,760,951	3,840,040	4,281,206	3,899,305	3,702,708

3-4 貸借対照表の状況

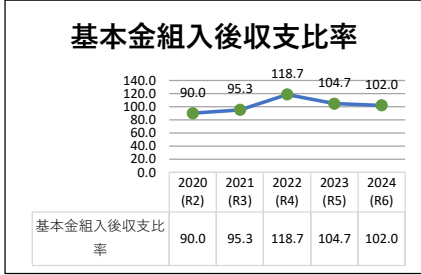
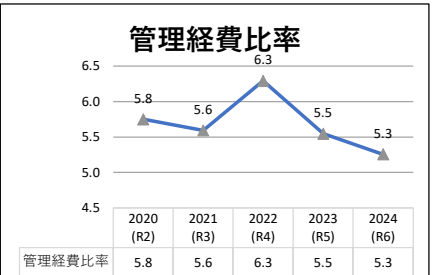
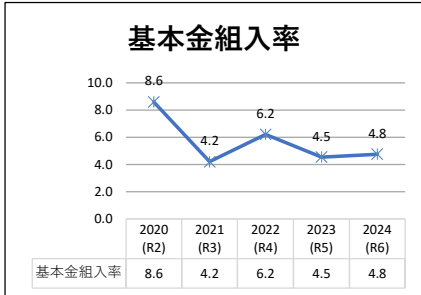
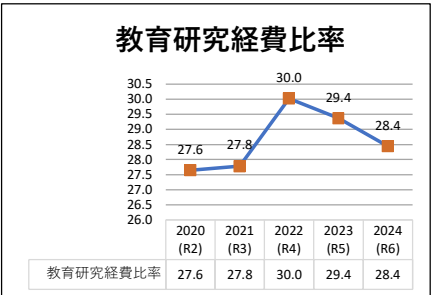
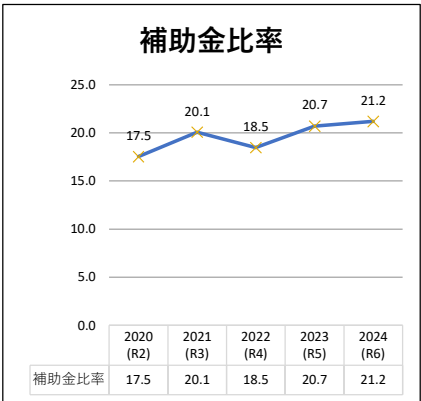
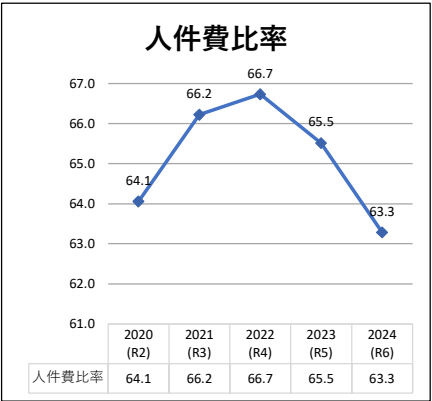
資 産 の 部						負 債 の 部					
科 目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	科 目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
固定資産	9,712,413 千円	9,509,055 千円	9,447,133 千円	9,057,252 千円	8,829,535 千円	固定負債	3,002,031 千円	2,829,407 千円	2,667,305 千円	2,517,094 千円	2,336,334 千円
有形固定資産	8,006,045	7,723,105	7,559,933	7,303,835	7,025,505	うち、長期借入金	1,805,440	1,666,560	1,527,680	1,388,800	1,249,920
うち、土地	1,257,951	1,257,951	1,257,951	1,257,951	1,257,951	うち、退職給与引当金	1,078,145	1,068,228	1,044,589	1,030,923	1,011,244
うち、建物	5,581,852	5,330,803	5,156,465	4,916,655	4,689,517	流動負債	946,200	979,679	1,455,653	1,364,859	1,194,088
うち、構築物	241,539	216,260	218,596	196,959	168,327	うち、短期借入金	138,880	138,880	638,880	538,880	438,880
うち、教育研究用機器備品	275,534	269,045	265,683	253,726	224,199	うち、未払金	109,516	109,843	121,713	105,337	84,788
特定資産	1,452,762	1,351,763	1,311,847	1,192,398	1,242,798	うち、前受金	478,266	477,888	483,463	468,686	412,616
うち、第3号基本金引当特定資産	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	負債の部合計	3,948,231	3,809,086	4,122,958	3,881,953	3,530,422
うち、退職金引当特定資産	720,809	621,316	588,245	470,884	516,937	純 資 産 の 部					
うち、減価償却引当特定資産	374,555	380,100	386,322	392,543	398,781	科 目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
その他の固定資産	253,606	434,187	575,353	561,019	561,233	基本金	12,920,895 千円	13,083,567 千円	13,322,590 千円	13,500,117 千円	13,681,741 千円
うち、有価証券	200,000	400,000	550,000	550,000	550,000	第1号基本金	12,357,895	12,520,567	12,759,590	12,937,117	13,118,741
うち、長期貸付金	40,543	28,081	11,497	7,902	2,872	第2号基本金	0	0	0	0	0
流動資産	2,222,740	2,312,313	2,253,990	2,405,482	2,391,755	第3号基本金	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000
うち、現金・預金	2,138,207	2,159,007	2,079,129	2,197,977	2,264,206	第4号基本金	263,000	263,000	263,000	263,000	263,000
資産の部合計	11,935,153	11,821,368	11,701,123	11,462,734	11,221,291	繰越収支差額	△ 4,933,973	△ 5,071,285	△ 5,744,425	△ 5,919,336	△ 5,990,873
						翌年度繰越収支差額	△ 4,933,973	△ 5,071,285	△ 5,744,425	△ 5,919,336	△ 5,990,873
						純資産の部合計	7,986,922	8,012,282	7,578,165	7,580,781	7,690,869
						負債及び純資産の部合計	11,935,153	11,821,368	11,701,123	11,462,734	11,221,291
						減価償却額の累計額の合計額	5,677,471	5,983,172	6,286,241	6,611,991	6,883,918
						基本金未組入額	1,482,199	1,340,614	1,231,733	1,099,139	953,264

3-5 財 務 比 率 表

区 分			2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
分類	比 率	算 式					
貸 借 対 照 表	繰越収支差額構成比率	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	△ 41.3	△ 42.9	△ 49.1	△ 51.6	△ 53.4
	基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	89.7	90.7	91.5	92.5	93.5
	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	121.6	118.7	124.7	119.5	114.8
	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	234.9	236.0	154.8	176.2	200.3
	総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	33.1	32.2	35.2	33.9	31.5
	負債率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	49.4	47.5	54.4	51.2	45.9
	基本金実質組入率	$\frac{\text{基本金残高}}{\text{基本金要組入額}}$	55.5	55.5	52.1	51.9	52.6
	積立率	$\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$	53.7	53.2	51.6	49.6	49.5
	内部留保資産比率	$\frac{\text{運用資産} - \text{総負債}}{\text{総資産}}$	△ 1.3	0.9	△ 1.6	0.5	4.7
事 業 活 動 収 支 計 算 書	人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	83.6	90.4	89.8	92.4	87.6
	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	64.1	66.2	66.7	65.5	63.3
	教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	27.6	27.8	30.0	29.4	28.4
	管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	5.8	5.6	6.3	5.5	5.3
	基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入} - \text{基本金組入額}}$	107.0	103.7	118.7	104.7	102.0
	経常経費依存率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{学生生徒等納付金}}$	128.5	136.5	154.1	142.2	135.2
	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	76.6	73.2	74.3	70.9	72.2
	寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	1.8	1.1	2.9	1.3	1.3
	補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	17.5	20.1	18.5	20.7	21.2
	基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	8.6	4.2	6.2	4.5	4.8
	経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	2.3	0.2	△ 3.4	△ 0.8	2.7
	教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	2.2	△ 0.2	△ 3.9	△ 1.4	2.0
	事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	2.2	0.7	△ 11.3	0.1	2.9
F/C	教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	12.0	8.3	5.8	4.8	11.2

3-6 学校別財務比率

区分			大学	高校	中学校	幼稚園	法人全体
分類	比率	算式					
事業活動収支計算書	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{經常收入}}$	58.9	59.6	79.9	77.1	63.3
	教育研究經費比率	$\frac{\text{教育研究經費}}{\text{經常收入}}$	29.4	29.1	12.3	21.3	28.4
	管理經費比率	$\frac{\text{管理經費}}{\text{經常收入}}$	4.1	1.7	3.4	16.8	5.3
	基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動收入－基本金組入額}}$	90.6	80.3	95.8	115.0	102.0
	經常經費依存率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{学生生徒等納付金}}$	118.3	137.4	155.8	1,174.2	135.2
	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{經常收入}}$	78.4	66.5	61.7	9.8	72.2
	寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動收入}}$	1.5	1.1	1.1	0.0	1.3
	補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動收入}}$	15.6	29.3	36.4	82.0	21.2
	基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動收入}}$	1.5	13.7	0.2	0.2	4.8
	經常収支差額比率	$\frac{\text{經常収支差額}}{\text{經常收入}}$	7.6	8.8	4.4	△ 15.2	2.7
	教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動收入計}}$	7.6	9.5	4.4	△ 15.2	2.0



令和6年度計算書類

自 令和 6年 4月 1日

至 令和 7年 3月31日

[計算書類の種類]

資 金 収 支 計 算 書

資 金 収 支 内 訳 表

人 件 費 支 出 内 訳 表

活動区分資金収支計算書

事業活動収支計算書

事業活動収支内訳表

貸 借 対 照 表

固 定 資 産 明 細 表

借 入 金 明 細 表

基 本 金 明 細 表

学校法人名 学校法人 尚絅学院

学校法人所在地 宮城県名取市ゆりが丘4丁目10番1号

資金収支計算書

令和 6年 4月 1日 から
令和 7年 3月31日 まで

(単位 円)

収 入 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	2,741,843,000	2,739,179,150	2,663,850
授業料収入	1,804,515,000	1,802,110,600	2,404,400
入学金収入	174,880,000	176,030,000	△ 1,150,000
教育充実費収入	237,597,000	237,680,000	△ 83,000
資格課程費収入	12,480,000	12,410,000	70,000
施設設備資金収入	503,510,000	502,057,550	1,452,450
特定保育料収入	8,861,000	8,891,000	△ 30,000
手数料収入	49,468,000	47,518,024	1,949,976
入学検定料収入	43,458,000	41,212,000	2,246,000
試験料収入	20,000	140,000	△ 120,000
証明手数料収入	1,700,000	1,749,064	△ 49,064
大学入学共通テスト実施手数料収入	3,786,000	3,786,960	△ 960
入園受入準備費収入	504,000	630,000	△ 126,000
寄付金収入	42,841,000	40,924,233	1,916,767
特別寄付金収入	3,000,000	3,027,420	△ 27,420
一般寄付金収入	39,841,000	37,896,813	1,944,187
補助金収入	798,664,000	807,448,217	△ 8,784,217
国庫補助金収入	400,079,000	400,276,300	△ 197,300
地方公共団体補助金収入	340,176,000	339,085,665	1,090,335
施設型給付費収入	58,409,000	68,086,252	△ 9,677,252
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	17,599,000	19,108,041	△ 1,509,041
補助活動収入	13,146,000	13,598,500	△ 452,500
受託事業収入	4,453,000	5,509,541	△ 1,056,541
受取利息・配当金収入	35,596,000	36,280,983	△ 684,983
第3号基本金引当特定資産運用収入	5,080,000	5,080,000	0
退職金引当特定資産運用収入	6,475,000	6,581,965	△ 106,965
減価償却引当特定資産運用収入	6,221,000	6,237,592	△ 16,592
チャペル基金引当特定資産運用収入	0	113	△ 113
岡崎有里修学支援金引当特定資産運用収入	0	1,354	△ 1,354
その他の受取金利息・配当金収入	17,820,000	18,379,959	△ 559,959
雑収入	129,309,000	131,684,343	△ 2,375,343
私学退職金財団等交付金収入	116,932,000	116,935,980	△ 3,980
研究関連収入	4,211,000	4,154,928	56,072
過年度修正収入	46,000	46,360	△ 360
その他の雑収入	8,120,000	10,547,075	△ 2,427,075

科 目	予 算	決 算	差 異
借入金等収入	300,000,000	300,000,000	0
短期借入金収入	300,000,000	300,000,000	0
前受金収入	465,275,000	412,616,000	52,659,000
授業料前受金収入	181,900,000	145,087,000	36,813,000
入学金前受金収入	164,540,000	149,620,000	14,920,000
教育充実費前受金収入	11,625,000	9,425,000	2,200,000
施設設備資金前受金収入	106,780,000	107,163,000	△ 383,000
子育て支援前受金収入	130,000	156,000	△ 26,000
特定保育料前受金収入	300,000	165,000	135,000
その他前受金収入	0	1,000,000	△ 1,000,000
その他の収入	434,231,000	430,428,351	3,802,649
退職金引当特定資産取崩収入	165,112,000	165,108,934	3,066
奨学資金引当特定資産取崩収入	200,000	0	200,000
岡崎有里修学支援金引当特定資産取崩収入	2,500,000	2,501,459	△ 1,459
前期末未収入金収入	191,919,000	191,919,383	△ 383
貸付金回収収入	17,500,000	8,654,000	8,846,000
預り金受入収入	0	5,848,473	△ 5,848,473
仮払金受入収入	35,000,000	36,847,787	△ 1,847,787
立替金受入収入	20,000,000	19,548,315	451,685
敷金・保証金返還収入	2,000,000	0	2,000,000
資金収入調整勘定	△ 563,432,000	△ 583,342,438	19,910,438
期末未収入金	△ 94,746,000	△ 114,656,438	19,910,438
前期末前受金	△ 468,686,000	△ 468,686,000	0
前年度繰越支払資金	2,197,977,427	2,197,977,427	
収 入 の 部 合 計	6,649,371,427	6,579,822,331	69,549,096

(単位 円)

支 出 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	2,480,557,000	2,441,452,082	39,104,918
教員人件費支出	1,605,976,000	1,592,709,326	13,266,674
職員人件費支出	654,945,000	630,515,205	24,429,795
役員報酬支出	37,538,000	36,133,362	1,404,638
退職金支出	182,098,000	182,094,189	3,811
教育研究経費支出	772,920,000	722,531,927	50,388,073
消耗品費支出	24,803,000	27,981,970	△ 3,178,970
光熱水費支出	77,586,000	76,460,040	1,125,960
旅費交通費支出	22,037,000	24,085,470	△ 2,048,470
通信運搬費支出	10,902,000	9,714,424	1,187,576
印刷製本費支出	17,304,000	16,832,903	471,097
修繕費支出	30,155,000	25,983,280	4,171,720
出版物費支出	9,416,000	11,105,622	△ 1,689,622
福利厚生費支出	422,000	592,025	△ 170,025
損害保険料支出	2,630,000	2,352,018	277,982
諸会費支出	4,499,000	4,239,100	259,900
奨学費支出	178,070,000	179,362,350	△ 1,292,350
学生、生徒活動補給金支出	8,688,000	7,031,899	1,656,101
手数料料金支出	123,763,000	113,796,501	9,966,499
委託費支出	204,309,000	185,178,641	19,130,359
賃借料支出	8,538,000	8,319,704	218,296
解体撤去費支出	8,025,000	4,119,467	3,905,533
雑費支出	41,773,000	25,376,513	16,396,487
管理経費支出	182,840,000	200,391,166	△ 17,551,166
消耗品費支出	1,705,000	1,768,684	△ 63,684
光熱水費支出	5,005,000	4,881,991	123,009
旅費交通費支出	7,460,000	5,917,594	1,542,406
通信運搬費支出	7,002,000	6,252,969	749,031
印刷製本費支出	18,765,000	18,182,226	582,774
修繕費支出	4,819,000	6,407,840	△ 1,588,840
出版物費支出	303,000	552,515	△ 249,515
福利厚生費支出	5,717,000	4,841,413	875,587
車両燃料費支出	3,656,000	3,909,780	△ 253,780
慶弔費支出	564,000	409,000	155,000
損害保険料支出	2,799,000	2,795,928	3,072
公租公課支出	1,470,000	1,444,200	25,800
諸会費支出	2,473,000	2,468,000	5,000
広告費支出	27,485,000	27,353,789	131,211
手数料料金支出	40,747,000	45,408,124	△ 4,661,124
委託費支出	32,376,000	46,779,514	△ 14,403,514
賃借料支出	6,326,000	4,780,521	1,545,479
寄付金支出	344,000	344,624	△ 624
解体撤去費支出	0	99,000	△ 99,000
雑費支出	2,621,000	5,391,353	△ 2,770,353
私大等経常費補助金返還金支出	8,000	8,000	0
過年度修正支出	11,195,000	10,394,101	800,899

科 目	予 算	決 算	差 異
借入金等利息支出	10,745,000	10,744,168	832
借入金利息支出	10,745,000	10,744,168	832
借入金等返済支出	538,880,000	538,880,000	0
借入金支出	538,880,000	538,880,000	0
施設関係支出	35,726,000	23,271,814	12,454,186
建物支出	35,726,000	23,271,814	12,454,186
設備関係支出	43,788,000	51,801,210	△ 8,013,210
教育研究用機器備品支出	30,859,000	38,327,515	△ 7,468,515
管理用機器備品支出	6,759,000	5,564,900	1,194,100
図書支出	6,170,000	6,880,185	△ 710,185
車両支出	0	1,028,610	△ 1,028,610
資産運用支出	217,869,000	218,009,702	△ 140,702
退職金引当特定資産繰入支出	211,048,000	211,162,785	△ 114,785
減価償却引当特定資産繰入支出	6,221,000	6,237,592	△ 16,592
奨学資金引当特定資産繰入支出	600,000	607,858	△ 7,858
チャペル基金引当特定資産繰入支出	0	113	△ 113
岡崎有里修学支援金引当特定資産繰入支出	0	1,354	△ 1,354
その他の支出	194,500,000	174,581,439	19,918,561
貸付金支払支出	2,400,000	1,000,000	1,400,000
前期末未払金支払支出	105,345,000	105,336,922	8,078
預り金支払支出	20,000,000	0	20,000,000
前払金支払支出	10,765,000	10,657,641	107,359
仮払金支払支出	35,000,000	36,888,554	△ 1,888,554
立替金支払支出	20,000,000	19,708,322	291,678
敷金・保証金支払支出	990,000	990,000	0
資金支出調整勘定	△ 87,186,000	△ 66,047,177	△ 21,138,823
期末未払金	△ 83,724,000	△ 62,585,980	△ 21,138,020
前期末前払金	△ 3,462,000	△ 3,461,197	△ 803
翌年度繰越支払資金	2,258,732,427	2,264,206,000	△ 5,473,573
支出の部合計	6,649,371,427	6,579,822,331	69,549,096

資金収支内訳表

令和 6年 4月 1日 から
令和 7年 3月31日 まで

収入の部

科目 部門		学校法人	尚綱学院大学					尚綱学院 高等学校	尚綱学院 中学校	尚綱学院大学 附属幼稚園	(単位 円) 総 額
			総合人間科学部	人文社会学群	心理・教育学群	健康栄養学群	計				
学生生徒等納付金収入		0	2,287,500	846,019,500	784,107,050	360,300,100	1,992,714,150	690,571,000	47,003,000	8,891,000	2,739,179,150
授業料収入		0	1,262,500	592,152,000	542,273,700	235,518,400	1,371,206,600	400,686,000	30,218,000	0	1,802,110,600
入学金収入		0	0	50,160,000	45,840,000	20,880,000	116,880,000	57,800,000	1,350,000	0	176,030,000
教育充実費収入		0	775,000	38,787,500	35,050,000	15,450,000	90,062,500	138,185,500	9,432,000	0	237,680,000
資格課程費収入		0	0	1,000,000	8,250,000	3,160,000	12,410,000	0	0	0	12,410,000
施設設備資金収入		0	250,000	163,920,000	152,693,350	85,291,700	402,155,050	93,899,500	6,003,000	0	502,057,550
特定保育料収入		0	0	0	0	0	0	0	0	8,891,000	8,891,000
手数料収入		0	24,509	10,813,023	10,784,606	4,313,936	25,936,074	20,579,950	312,000	690,000	47,518,024
入学検定料収入		0	0	8,512,000	8,684,000	3,316,000	20,512,000	20,328,000	312,000	60,000	41,212,000
試験料収入		0	20,000	0	0	120,000	140,000	0	0	0	140,000
証明手数料収入		0	4,509	637,412	611,953	243,240	1,497,114	251,950	0	0	1,749,064
大学入学共通テスト実施手数料収入		0	0	1,663,611	1,488,653	634,696	3,786,960	0	0	0	3,786,960
入園受入準備費収入		0	0	0	0	0	0	0	0	630,000	630,000
寄付金収入		607,858	369,256	12,226,058	10,804,703	5,858,358	29,258,375	10,257,000	801,000	0	40,924,233
特別寄付金収入		607,858	3,778	534,045	477,944	1,403,795	2,419,562	0	0	0	3,027,420
一般寄付金収入		0	365,478	11,692,013	10,326,759	4,454,563	26,838,813	10,257,000	801,000	0	37,896,813
補助金収入		0	830,950	169,482,902	170,250,200	59,850,795	400,414,847	304,967,734	27,783,384	74,282,252	807,448,217
国庫補助金収入		0	830,950	169,344,355	170,250,200	59,850,795	400,276,300	0	0	0	400,276,300
地方公共団体補助金収入		0	0	138,547	0	0	138,547	304,967,734	27,783,384	6,196,000	339,085,665
施設型給付費収入		0	0	0	0	0	0	0	0	68,086,252	68,086,252
資産売却収入		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
付随事業・収益事業収入		0	37,032	5,232,611	4,889,236	2,446,762	12,605,641	0	0	6,502,400	19,108,041
補助活動収入		0	21,989	3,107,378	2,780,954	1,185,779	7,096,100	0	0	6,502,400	13,598,500
受託事業収入		0	15,043	2,125,233	2,108,282	1,260,983	5,509,541	0	0	0	5,509,541
受取利息・配当金収入		36,279,516	0	643	572	252	1,467	0	0	0	36,280,983
第3号基本金引当特定資産運用収入		5,080,000	0	0	0	0	0	0	0	0	5,080,000
退職金引当特定資産運用収入		6,581,965	0	0	0	0	0	0	0	0	6,581,965
減価償却引当特定資産運用収入		6,237,592	0	0	0	0	0	0	0	0	6,237,592
チャペル基金引当特定資産運用収入		0	0	49	42	22	113	0	0	0	113
岡崎有里修学支援金引当特定資産運用収入		0	0	594	530	230	1,354	0	0	0	1,354
その他の受取金利息・配当金収入		18,379,959	0	0	0	0	0	0	0	0	18,379,959
雑収入		6,164,565	29,905	4,225,168	51,026,523	35,323,343	90,604,939	34,689,565	12,064	213,210	131,684,343
私学退職金財団等交付金収入		5,076,430	0	0	45,845,200	33,679,900	79,525,100	32,334,450	0	0	116,935,980
研究関連収入		0	12,878	1,819,442	1,628,314	694,294	4,154,928	0	0	0	4,154,928
過年度修正収入		0	0	0	0	0	0	0	0	46,360	46,360
その他の雑収入		1,088,135	17,027	2,405,726	3,553,009	949,149	6,924,911	2,355,115	12,064	166,850	10,547,075
借入金等収入		300,000,000	0	0	0	0	0	0	0	0	300,000,000
短期借入金収入		300,000,000	0	0	0	0	0	0	0	0	300,000,000
計		343,051,939	3,579,152	1,047,999,905	1,031,862,890	468,093,546	2,551,535,493	1,061,065,249	75,911,448	90,578,862	4,122,142,991

支出の部

(単位 円)

科目	部門	学校法人	尚綱学院大学					尚綱学院 高等学校	尚綱学院 中学校	尚綱学院大学 附属幼稚園	総 額
			総合人間科学部	人文社会学群	心理・教育学群	健康栄養学群	計				
人件費支出		144,049,929	0	575,226,662	593,780,580	328,388,933	1,497,396,175	671,303,687	59,696,521	69,005,770	2,441,452,082
教員人件費支出		0	0	403,293,553	357,264,615	178,663,105	939,221,273	543,072,529	49,825,785	60,589,739	1,592,709,326
職員人件費支出		107,189,167	0	171,933,109	176,638,265	95,867,483	444,438,857	61,645,014	9,870,736	7,371,431	630,515,205
役員報酬支出		36,133,362	0	0	0	0	0	0	0	0	36,133,362
退職金支出		727,400	0	0	59,877,700	53,858,345	113,736,045	66,586,144	0	1,044,600	182,094,189
教育研究経費支出		0	1,041,017	225,340,462	231,188,331	90,972,292	548,542,102	153,765,159	7,991,362	12,233,304	722,531,927
消耗品費支出		0	29,148	4,709,689	7,141,665	6,086,178	17,966,680	6,682,028	697,392	2,635,870	27,981,970
光熱水費支出		0	153,106	21,627,820	19,355,883	8,253,058	49,389,867	22,243,678	2,436,760	2,389,735	76,460,040
旅費交通費支出		0	11,911	5,401,137	6,151,145	1,855,088	13,419,281	9,394,289	1,216,480	55,420	24,085,470
通信運搬費支出		0	19,144	2,778,618	2,997,463	1,100,358	6,895,583	2,402,953	75,036	340,852	9,714,424
印刷製本費支出		0	35,273	5,782,213	5,083,814	3,009,692	13,910,992	2,530,113	286,901	104,897	16,832,903
修繕費支出		0	38,637	5,458,805	5,469,325	2,347,155	13,313,922	11,821,808	0	847,550	25,983,280
出版物費支出		0	28,084	4,273,031	3,592,789	1,565,445	9,459,349	1,461,314	171,686	13,273	11,105,622
福利厚生費支出		0	130	18,391	16,459	7,020	42,000	291,535	37,525	220,965	592,025
損害保険料支出		0	4,414	641,564	559,396	238,552	1,443,926	688,631	85,437	134,024	2,352,018
諸会費支出		0	8,876	1,325,893	1,454,815	839,254	3,628,838	464,768	24,064	121,430	4,239,100
奨学費支出		0	0	60,591,400	72,053,800	17,824,100	150,469,300	27,235,050	853,000	805,000	179,362,350
学生、生徒活動補給金支出		0	10,227	2,137,177	1,729,464	664,272	4,541,140	2,490,759	0	0	7,031,899
手数料料金支出		0	264,660	41,002,526	41,240,564	18,828,709	101,336,459	9,495,786	626,960	2,337,296	113,796,501
委託費支出		0	400,624	56,606,237	50,647,377	21,595,262	129,249,500	53,755,158	1,248,902	925,081	185,178,641
賃借料支出		0	15,535	2,268,395	2,167,639	1,028,800	5,480,369	1,990,658	196,069	652,608	8,319,704
解体撤去費支出		0	12,760	1,803,908	1,614,405	688,394	4,119,467	0	0	0	4,119,467
雑費支出		0	8,488	8,913,658	9,912,328	5,040,955	23,875,429	816,631	35,150	649,303	25,376,513
管理経費支出		60,083,344	175,714	45,402,164	41,413,851	18,887,921	105,879,650	16,747,386	2,803,306	14,877,480	200,391,166
消耗品費支出		550,131	1,084	258,611	314,497	220,438	794,630	415,738	8,185	0	1,768,684
光熱水費支出		1,115,997	10,079	1,424,895	1,275,204	543,760	3,253,938	421,573	46,183	44,300	4,881,991
旅費交通費支出		2,623,069	337	1,332,798	1,230,043	502,656	3,065,834	213,314	14,277	1,100	5,917,594
通信運搬費支出		1,594,180	877	1,859,858	1,678,769	710,728	4,250,232	407,676	881	0	6,252,969
印刷製本費支出		1,380,905	31,511	4,806,837	4,299,266	1,857,047	10,994,661	3,730,343	2,076,317	0	18,182,226
修繕費支出		2,519,477	11,075	1,566,832	1,461,605	624,798	3,664,310	224,053	0	0	6,407,840
出版物費支出		191,048	795	123,698	104,135	45,361	273,989	85,463	2,015	0	552,515
福利厚生費支出		496,416	9,078	1,282,721	1,147,974	489,484	2,929,257	1,295,580	120,160	0	4,841,413
車両燃料費支出		55,901	6,326	894,207	800,270	341,238	2,042,041	308,878	0	1,502,960	3,909,780
慶弔費支出		409,000	0	0	0	0	0	0	0	0	409,000
損害保険料支出		2,368,514	743	106,597	94,977	40,516	242,833	183,578	1,003	0	2,795,928
公租公課支出		131,265	2,822	399,058	357,137	152,287	911,304	105,832	1,718	294,081	1,444,200
諸会費支出		2,468,000	0	0	0	0	0	0	0	0	2,468,000
広告費支出		2,309,480	14,936	9,917,304	8,874,577	3,783,786	22,590,603	2,453,706	0	0	27,353,789

(単位 円)

科目	部門	学校法人	尚綱学院大学					尚綱学院 高等学校	尚綱学院 中学校	尚綱学院大学 附属幼稚園	總 額
			総合人間科学部	人文社会学群	心理・教育学群	健康栄養学群	計				
手数料料金支出		27,528,714	10,166	6,576,633	6,014,168	2,599,574	15,200,541	2,671,511	7,358	0	45,408,124
委託費支出		9,954,223	72,250	10,430,838	9,333,805	3,979,801	23,816,694	1,866,786	264,913	10,876,898	46,779,514
賃借料支出		1,253,048	1,967	278,307	249,068	106,211	635,553	898,720	0	1,993,200	4,780,521
寄付金支出		0	1,067	150,910	135,057	57,590	344,624	0	0	0	344,624
解体撤去費支出		99,000	0	0	0	0	0	0	0	0	99,000
雑費支出		1,309,708	601	1,474,627	1,419,001	682,035	3,576,264	421,827	50,889	32,665	5,391,353
私大等経常費補助金返還金支出		0	0	3,514	3,143	1,343	8,000	0	0	0	8,000
過年度修正支出		1,725,268	0	2,513,919	2,621,155	2,149,268	7,284,342	1,042,808	209,407	132,276	10,394,101
借入金等利息支出		3,424,657	0	0	0	0	0	7,319,511	0	0	10,744,168
借入金利息支出		3,424,657	0	0	0	0	0	7,319,511	0	0	10,744,168
借入金等返済支出		400,000,000	0	0	0	0	0	138,880,000	0	0	538,880,000
借入金支出		400,000,000	0	0	0	0	0	138,880,000	0	0	538,880,000
施設関係支出		0	65,982	9,380,714	8,395,290	3,579,628	21,421,614	1,850,200	0	0	23,271,814
建物支出		0	65,982	9,380,714	8,395,290	3,579,628	21,421,614	1,850,200	0	0	23,271,814
設備関係支出		5,179,900	115,146	17,127,884	14,973,811	10,186,127	42,402,968	3,708,856	509,486	0	51,801,210
教育研究用機器備品支出		0	91,418	14,195,710	11,941,580	9,276,947	35,505,655	2,646,080	175,780	0	38,327,515
管理用機器備品支出		5,179,900	0	101,478	90,805	38,717	231,000	154,000	0	0	5,564,900
図書支出		0	20,541	2,380,269	2,538,316	698,577	5,637,703	908,776	333,706	0	6,880,185
車両支出		0	3,187	450,427	403,110	171,886	1,028,610	0	0	0	1,028,610
計		612,737,830	1,397,859	872,477,886	889,751,863	452,014,901	2,215,642,509	993,574,799	71,000,675	96,116,554	3,989,072,367

人件費支出内訳表

令和 6年 4月 1日 から
令和 7年 3月31日 まで

(単位 円)

科目	部門	学校法人	尚綱学院大学					尚綱学院 高等学校	尚綱学院 中学校	尚綱学院大学 附属幼稚園	総 額
			総合人間科学部	人文社会学群	心理・教育学群	健康栄養学群	計				
教員人件費支出		0	0	403,293,553	357,264,615	178,663,105	939,221,273	543,072,529	49,825,785	60,589,739	1,592,709,326
本務教員		0	0	375,540,515	338,716,855	173,616,032	887,873,402	485,336,619	49,825,785	60,589,739	1,483,625,545
本俸		0	0	208,026,960	190,326,960	96,887,760	495,241,680	266,284,605	27,970,800	35,308,560	824,805,645
期末手当		0	0	79,618,068	70,086,948	37,471,508	187,176,524	96,740,382	9,630,990	11,705,432	305,253,328
その他の手当		0	0	20,812,590	18,958,900	8,176,650	47,948,140	32,080,025	3,252,755	4,941,167	88,222,087
所定福利費		0	0	46,283,195	42,420,339	21,679,101	110,382,635	59,896,646	6,187,839	8,634,580	185,101,700
私学退職金財団等掛金		0	0	20,799,702	16,923,708	9,401,013	47,124,423	30,334,961	2,783,401	0	80,242,785
兼務教員		0	0	27,753,038	18,547,760	5,047,073	51,347,871	57,735,910	0	0	109,083,781
職員人件費支出		107,189,167	0	171,933,109	176,638,265	95,867,483	444,438,857	61,645,014	9,870,736	7,371,431	630,515,205
本務職員		106,229,167	0	169,005,517	166,998,751	92,498,638	428,502,906	56,472,496	9,870,736	0	601,075,305
本俸		57,866,400	0	91,027,190	92,440,883	50,371,200	233,839,273	31,332,480	5,187,600	0	328,225,753
期末手当		22,017,640	0	34,324,987	32,762,820	18,682,960	85,770,767	11,900,434	1,988,580	0	121,677,421
その他の手当		5,984,164	0	12,714,913	12,091,193	6,666,354	31,472,460	2,814,073	801,101	0	41,071,798
所定福利費		13,164,059	0	21,175,325	21,194,395	11,874,014	54,243,734	7,121,150	1,238,537	0	75,767,480
私学退職金財団等掛金		7,196,904	0	9,763,102	8,509,460	4,904,110	23,176,672	3,304,359	654,918	0	34,332,853
兼務職員		960,000	0	2,927,592	9,639,514	3,368,845	15,935,951	5,172,518	0	7,371,431	29,439,900
役員報酬支出		36,133,362	0	0	0	0	0	0	0	0	36,133,362
退職金支出		727,400	0	0	59,877,700	53,858,345	113,736,045	66,586,144	0	1,044,600	182,094,189
教員		0	0	0	30,785,040	17,099,480	47,884,520	22,791,588	0	1,044,600	71,720,708
職員		0	0	0	29,092,660	36,758,865	65,851,525	43,794,556	0	0	109,646,081
役員		727,400	0	0	0	0	0	0	0	0	727,400
計		144,049,929	0	575,226,662	593,780,580	328,388,933	1,497,396,175	671,303,687	59,696,521	69,005,770	2,441,452,082

活動区分資金収支計算書

令和 6年 4月 1日から
令和 7年 3月31日まで

(単位:円)

		科 目	金 額
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	2,739,179,150
		手数料収入	47,518,024
		特別寄付金収入	3,027,420
		一般寄付金収入	37,896,813
		経常費等補助金収入	797,908,217
		付随事業収入	19,108,041
		雑収入	131,637,983
		教育活動資金収入 計	3,776,275,648
	支出	人件費支出	2,441,452,082
		教育研究経費支出	722,531,927
		管理経費支出	189,997,065
		教育活動資金支出 計	3,353,981,074
		差引	422,294,574
		調整勘定等	774,319
		教育活動資金収支差額	423,068,893
施設整備等活動による資金収支	科 目		金 額
	収入	施設設備補助金収入	9,540,000
		施設整備等活動資金収入 計	9,540,000
	支出	施設関係支出	23,271,814
		設備関係支出	51,801,210
		減価償却引当特定資産繰入支出	6,237,592
		施設整備等活動資金支出 計	81,310,616
		差引	△ 71,770,616
		調整勘定等	△ 28,938,868
		施設整備等活動資金収支差額	△ 100,709,484
		小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	322,359,409
その他の活動による資金収支	収入	借入金等収入	300,000,000
		退職金引当特定資産取崩収入	165,108,934
		岡崎有里修学支援金引当特定資産取崩収入	2,501,459
		貸付金回収収入	8,654,000
		預り金受入収入	5,848,473
		仮払金受入収入	36,847,787
		立替金受入収入	19,548,315
		小計	538,508,968
		受取利息・配当金収入	36,280,983
		過年度修正収入	46,360
		その他の活動資金収入 計	574,836,311
	支出	借入金等返済支出	538,880,000
		退職金引当特定資産繰入支出	211,162,785
		奨学資金引当特定資産繰入支出	607,858
		チャペル基金引当特定資産繰入支出	113
		岡崎有里修学支援金引当特定資産繰入支出	1,354
		貸付金支払支出	1,000,000
		仮払金支払支出	36,888,554
		立替金支払支出	19,708,322
		敷金・保証金支払支出	990,000
		小計	809,238,986
		借入金等利息支出	10,744,168
		過年度修正支出	10,394,101
		その他の活動資金支出 計	830,377,255
		差引	△ 255,540,944
		調整勘定等	△ 589,892
		その他の活動資金収支差額	△ 256,130,836
		支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	66,228,573
		前年度繰越支払資金	2,197,977,427
		翌年度繰越支払資金	2,264,206,000

(注記) 活動区分ごとの調整勘定等計算過程は以下のとおり。

項目	資金収支計算書 計上額	教育活動 による資金収支	施設設備等活動 による資金収支	その他の活動 による資金収支
前受金収入	412,616,000	412,616,000	0	0
授業料前受金収入	145,087,000	145,087,000	0	0
入学金前受金収入	149,620,000	149,620,000	0	0
教育充実費前受金収入	9,425,000	9,425,000	0	0
施設設備資金前受金収入	107,163,000	107,163,000	0	0
子育て支援前受金収入	156,000	156,000	0	0
特定保育料前受金収入	165,000	165,000	0	0
その他前受金収入	1,000,000	1,000,000	0	0
前期末未収入金収入	191,919,383	191,252,493	651,000	15,890
期末未収入金	△ 114,656,438	△ 106,076,438	△ 8,580,000	0
前期末前受金	△ 468,686,000	△ 468,686,000	0	0
収入計	21,192,945	29,106,055	△ 7,929,000	15,890
前期末未払金支払支出	105,336,922	74,221,222	28,441,468	2,674,232
前払金支払支出	10,657,641	10,657,641	0	0
期末未払金	△ 62,585,980	△ 53,085,930	△ 7,431,600	△ 2,068,450
前期末前払金	△ 3,461,197	△ 3,461,197	0	0
支出計	49,947,386	28,331,736	21,009,868	605,782
収入計－支出計	△ 28,754,441	774,319	△ 28,938,868	△ 589,892

事業活動収支計算書

令和 6年 4月 1日 から
令和 7年 3月31日 まで

(単位 円)

		科 目	予 算	決 算	差 異
		学生生徒等納付金	2,741,843,000	2,739,179,150	2,663,850
教育活動収支	事業活動収入の部	授業料	1,804,515,000	1,802,110,600	2,404,400
		入学金	174,880,000	176,030,000	△ 1,150,000
		教育充実費	237,597,000	237,680,000	△ 83,000
		資格課程費	12,480,000	12,410,000	70,000
		施設設備資金	503,510,000	502,057,550	1,452,450
		特定保育料	8,861,000	8,891,000	△ 30,000
		手数料	49,468,000	47,518,024	1,949,976
		入学検定料	43,458,000	41,212,000	2,246,000
		試験料	20,000	140,000	△ 120,000
		証明手数料	1,700,000	1,749,064	△ 49,064
		大学入学共通テスト実施手数料	3,786,000	3,786,960	△ 960
		入園受入準備費	504,000	630,000	△ 126,000
		寄付金	47,041,000	41,739,113	5,301,887
		特別寄付金	3,000,000	3,027,420	△ 27,420
		一般寄付金	39,841,000	37,896,813	1,944,187
		現物寄付	4,200,000	814,880	3,385,120
		経常費等補助金	789,949,000	797,908,217	△ 7,959,217
		国庫補助金	391,499,000	391,696,300	△ 197,300
		地方公共団体補助金	340,041,000	338,125,665	1,915,335
		施設型給付費	58,409,000	68,086,252	△ 9,677,252
		付随事業収入	17,599,000	19,108,041	△ 1,509,041
		補助活動収入	13,146,000	13,598,500	△ 452,500
		受託事業収入	4,453,000	5,509,541	△ 1,056,541
		雑収入	106,813,000	109,524,966	△ 2,711,966
		私学退職金財団等交付金	94,482,000	94,485,630	△ 3,630
		研究関連収入	4,211,000	4,154,928	56,072
		徴収不能引当金戻入額	0	337,333	△ 337,333
		その他の雑収入	8,120,000	10,547,075	△ 2,427,075
		教育活動収入 計	3,752,713,000	3,754,977,511	△ 2,264,511
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		人件費	2,429,823,000	2,399,323,235	30,499,765
		教員人件費	1,605,976,000	1,592,709,326	13,266,674
		職員人件費	654,945,000	630,515,205	24,429,795
		役員報酬	37,538,000	36,133,362	1,404,638
		退職給与引当金繰入額	114,377,000	122,980,087	△ 8,603,087
		退職金	16,987,000	16,985,255	1,745
		教育研究経費	1,125,742,000	1,078,166,645	47,575,355
		消耗品費	24,803,000	28,670,350	△ 3,867,350
		光熱水費	77,586,000	76,460,040	1,125,960
		旅費交通費	22,037,000	24,085,470	△ 2,048,470
		通信運搬費	10,902,000	9,714,424	1,187,576
		印刷製本費	17,304,000	16,832,903	471,097
		修繕費	30,155,000	26,109,780	4,045,220
		出版物費	9,416,000	11,105,622	△ 1,689,622
		福利厚生費	422,000	592,025	△ 170,025
		損害保険料	2,630,000	2,352,018	277,982

教育活動収支	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		諸会費	4,499,000	4,239,100	259,900
		奨学費	178,070,000	179,362,350	△ 1,292,350
		学生、生徒活動補給金	8,688,000	7,031,899	1,656,101
		手数料料金	123,763,000	113,796,501	9,966,499
		委託費	204,309,000	185,178,641	19,130,359
		賃借料	8,538,000	8,319,704	218,296
		解体撤去費	8,025,000	6,119,467	1,905,533
		雑費	41,773,000	25,376,513	16,396,487
		減価償却額	352,822,000	352,819,838	2,162
		管理経費	180,955,000	199,305,302	△ 18,350,302
		消耗品費	1,705,000	1,768,684	△ 63,684
		光熱水費	5,005,000	4,881,991	123,009
		旅費交通費	7,460,000	5,917,594	1,542,406
		通信運搬費	7,002,000	6,252,969	749,031
		印刷製本費	18,765,000	18,182,226	582,774
		修繕費	4,819,000	6,407,840	△ 1,588,840
		出版物費	303,000	552,515	△ 249,515
		福利厚生費	5,717,000	4,841,413	875,587
		車両燃料費	3,656,000	3,909,780	△ 253,780
		慶弔費	564,000	409,000	155,000
		損害保険料	2,799,000	2,795,928	3,072
		公租公課	1,470,000	1,444,200	25,800
		諸会費	2,473,000	2,468,000	5,000
		広告費	27,485,000	27,353,789	131,211
		手数料料金	40,747,000	45,408,124	△ 4,661,124
		委託費	32,376,000	46,779,514	△ 14,403,514
		賃借料	6,326,000	4,780,521	1,545,479
		寄付金	344,000	344,624	△ 624
		解体撤去費	0	99,000	△ 99,000
		雑費	2,621,000	5,391,353	△ 2,770,353
		私立大学等経常費補助金返還金	8,000	8,000	0
		減価償却額	9,310,000	9,308,237	1,763
		徴収不能額等	4,591,000	1,548,970	3,042,030
		徴収不能引当金繰入額	4,591,000	1,548,970	3,042,030
		教育活動支出 計	3,741,111,000	3,678,344,152	62,766,848
		教育活動収支差額	11,602,000	76,633,359	△ 65,031,359
教育活動外収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		受取利息・配当金	35,596,000	36,280,983	△ 684,983
		第3号基本金引当特定資産運用収入	5,080,000	5,080,000	0
		退職金引当特定資産運用収入	6,475,000	6,581,965	△ 106,965
		減価償却引当特定資産運用収入	6,221,000	6,237,592	△ 16,592
		チャペル基金引当特定資産運用収入	0	113	△ 113
		岡崎有里修学支援金引当特定資産運用収入	0	1,354	△ 1,354
		その他の受取金利息・配当金	17,820,000	18,379,959	△ 559,959
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入 計	35,596,000	36,280,983	△ 684,983
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		借入金等利息	10,745,000	10,744,168	832
		借入金利息	10,745,000	10,744,168	832
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出 計	10,745,000	10,744,168	832
		教育活動外収支差額	24,851,000	25,536,815	△ 685,815
		経常収支差額	36,453,000	102,170,174	△ 65,717,174

特別収支	事業収入 活動の 動部	科 目	予 算	決 算	差 異
		資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	10,972,000	21,536,813	△ 10,564,813
		現物寄付	0	9,739,094	△ 9,739,094
		施設設備補助金	8,715,000	9,540,000	△ 825,000
		過年度修正額	2,257,000	2,257,719	△ 719
		特別収入 計	10,972,000	21,536,813	△ 10,564,813
	事業支出 活動の 動部	科 目	予 算	決 算	差 異
		資産処分差額	5,000,000	3,225,705	1,774,295
		教育研究用機器備品処分差額	0	329,178	△ 329,178
		図書処分差額	5,000,000	2,896,527	2,103,473
		その他の特別支出	11,195,000	10,394,101	800,899
		過年度修正額	11,195,000	10,394,101	800,899
		特別支出 計	16,195,000	13,619,806	2,575,194
	特別収支差額		△ 5,223,000	7,917,007	△ 13,140,007
	基本金組入前当年度収支差額		31,230,000	110,087,181	△ 78,857,181
	基本金組入額合計		△ 199,442,000	△ 181,624,298	△ 17,817,702
	当年度収支差額		△ 168,212,000	△ 71,537,117	△ 96,674,883
	前年度繰越収支差額		△ 5,919,335,749	△ 5,919,335,749	0
	翌年度繰越収支差額		△ 6,087,547,749	△ 5,990,872,866	△ 96,674,883
	(参 考)				
	事業活動収入 計		3,799,281,000	3,812,795,307	△ 13,514,307
	事業活動支出 計		3,768,051,000	3,702,708,126	65,342,874

事業活動収支内訳表

令和 6年 4月 1日 から
令和 7年 3月31日 まで

(単位 円)

科目		部門	学校法人	尚綱学院大学	尚綱学院 高等学校	尚綱学院 中学校	尚綱学院大学 附属幼稚園	総 額
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	0	1,992,714,150	690,571,000	47,003,000	8,891,000	2,739,179,150
		授業料	0	1,371,206,600	400,686,000	30,218,000	0	1,802,110,600
		入学金	0	116,880,000	57,800,000	1,350,000	0	176,030,000
		教育充実費	0	90,062,500	138,185,500	9,432,000	0	237,680,000
		資格課程費	0	12,410,000	0	0	0	12,410,000
		施設設備資金	0	402,155,050	93,899,500	6,003,000	0	502,057,550
		特定保育料	0	0	0	0	8,891,000	8,891,000
		手数料	0	25,936,074	20,579,950	312,000	690,000	47,518,024
		入学検定料	0	20,512,000	20,328,000	312,000	60,000	41,212,000
		試験料	0	140,000	0	0	0	140,000
		証明手数料	0	1,497,114	251,950	0	0	1,749,064
		大学入学共通テスト実施手数料	0	3,786,960	0	0	0	3,786,960
		入園受入準備費	0	0	0	0	630,000	630,000
		寄付金	607,858	29,384,875	10,945,380	801,000	0	41,739,113
		特別寄付金	607,858	2,419,562	0	0	0	3,027,420
		一般寄付金	0	26,838,813	10,257,000	801,000	0	37,896,813
		現物寄付	0	126,500	688,380	0	0	814,880
		経常費等補助金	0	391,834,847	304,051,676	27,739,442	74,282,252	797,908,217
		国庫補助金	0	391,696,300	0	0	0	391,696,300
		地方公共団体補助金	0	138,547	304,051,676	27,739,442	6,196,000	338,125,665
		施設型給付費	0	0	0	0	68,086,252	68,086,252
		付随事業収入	0	12,605,641	0	0	6,502,400	19,108,041
		補助活動収入	0	7,096,100	0	0	6,502,400	13,598,500
		受託事業収入	0	5,509,541	0	0	0	5,509,541
		雑収入	6,164,565	90,604,939	12,239,215	349,397	166,850	109,524,966
		私学退職金財団等交付金	5,076,430	79,525,100	9,884,100	0	0	94,485,630
		研究関連収入	0	4,154,928	0	0	0	4,154,928
		徴収不能引当金戻入額	0	0	0	337,333	0	337,333
		その他の雑収入	1,088,135	6,924,911	2,355,115	12,064	166,850	10,547,075
		教育活動収入 計	6,772,423	2,543,080,526	1,038,387,221	76,204,839	90,532,502	3,754,977,511
	事業支出の部	人件費	153,137,111	1,496,636,141	618,892,574	60,887,031	69,770,378	2,399,323,235
		教員人件費	0	939,221,273	543,072,529	49,825,785	60,589,739	1,592,709,326
		職員人件費	107,189,167	444,438,857	61,645,014	9,870,736	7,371,431	630,515,205
		役員報酬	36,133,362	0	0	0	0	36,133,362
		退職給与引当金繰入額	9,087,182	104,669,596	6,223,591	1,190,510	1,809,208	122,980,087
		退職金	727,400	8,306,415	7,951,440	0	0	16,985,255

(単位 円)

科目		部門	学校法人	尚綱学院大学	尚綱学院 高等学校	尚綱学院 中学校	尚綱学院大学 附属幼稚園	総 額
教育活動収支	事業活動支出の部	教育研究経費	0	747,040,777	302,415,152	9,389,580	19,321,136	1,078,166,645
		消耗品費	0	17,966,680	7,370,408	697,392	2,635,870	28,670,350
		光熱水費	0	49,389,867	22,243,678	2,436,760	2,389,735	76,460,040
		旅費交通費	0	13,419,281	9,394,289	1,216,480	55,420	24,085,470
		通信運搬費	0	6,895,583	2,402,953	75,036	340,852	9,714,424
		印刷製本費	0	13,910,992	2,530,113	286,901	104,897	16,832,903
		修繕費	0	13,440,422	11,821,808	0	847,550	26,109,780
		出版物費	0	9,459,349	1,461,314	171,686	13,273	11,105,622
		福利厚生費	0	42,000	291,535	37,525	220,965	592,025
		損害保険料	0	1,443,926	688,631	85,437	134,024	2,352,018
		諸会費	0	3,628,838	464,768	24,064	121,430	4,239,100
		奨学費	0	150,469,300	27,235,050	853,000	805,000	179,362,350
		学生、生徒活動補給金	0	4,541,140	2,490,759	0	0	7,031,899
		手数料料金	0	101,336,459	9,495,786	626,960	2,337,296	113,796,501
		委託費	0	129,249,500	53,755,158	1,248,902	925,081	185,178,641
		賃借料	0	5,480,369	1,990,658	196,069	652,608	8,319,704
		解体撤去費	0	6,119,467	0	0	0	6,119,467
		雑費	0	23,875,429	816,631	35,150	649,303	25,376,513
		減価償却額	0	196,372,175	147,961,613	1,398,218	7,087,832	352,819,838
		管理経費	59,879,701	103,656,034	18,005,096	2,593,899	15,170,572	199,305,302
		消耗品費	550,131	794,630	415,738	8,185	0	1,768,684
		光熱水費	1,115,997	3,253,938	421,573	46,183	44,300	4,881,991
		旅費交通費	2,623,069	3,065,834	213,314	14,277	1,100	5,917,594
		通信運搬費	1,594,180	4,250,232	407,676	881	0	6,252,969
		印刷製本費	1,380,905	10,994,661	3,730,343	2,076,317	0	18,182,226
		修繕費	2,519,477	3,664,310	224,053	0	0	6,407,840
		出版物費	191,048	273,989	85,463	2,015	0	552,515
		福利厚生費	496,416	2,929,257	1,295,580	120,160	0	4,841,413
		車両燃料費	55,901	2,042,041	308,878	0	1,502,960	3,909,780
		慶弔費	409,000	0	0	0	0	409,000
		損害保険料	2,368,514	242,833	183,578	1,003	0	2,795,928
		公租公課	131,265	911,304	105,832	1,718	294,081	1,444,200
		諸会費	2,468,000	0	0	0	0	2,468,000
		広告費	2,309,480	22,590,603	2,453,706	0	0	27,353,789
		手数料料金	27,528,714	15,200,541	2,671,511	7,358	0	45,408,124
		委託費	9,954,223	23,816,694	1,866,786	264,913	10,876,898	46,779,514
		賃借料	1,253,048	635,553	898,720	0	1,993,200	4,780,521
		寄付金	0	344,624	0	0	0	344,624
		解体撤去費	99,000	0	0	0	0	99,000
		雑費	1,309,708	3,576,264	421,827	50,889	32,665	5,391,353
		私立大学等経常費補助金返還金	0	8,000	0	0	0	8,000
		減価償却額	1,521,625	5,060,726	2,300,518	0	425,368	9,308,237
		徴収不能額等	0	1,330,958	218,012	0	0	1,548,970
		徴収不能引当金繰入額	0	1,330,958	218,012	0	0	1,548,970
		教育活動支出 計	213,016,812	2,348,663,910	939,530,834	72,870,510	104,262,086	3,678,344,152
		教育活動収支差額	△ 206,244,389	194,416,616	98,856,387	3,334,329	△ 13,729,584	76,633,359

(単位 円)

科目		部門	学校法人	尚綱学院大学	尚綱学院 高等学校	尚綱学院 中学校	尚綱学院大学 附属幼稚園	総 額	
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	36,279,516	1,467	0	0	0	36,280,983	
		第3号基本金引当特定資産運用収入	5,080,000	0	0	0	0	5,080,000	
		退職金引当特定資産運用収入	6,581,965	0	0	0	0	6,581,965	
		減価償却引当特定資産運用収入	6,237,592	0	0	0	0	6,237,592	
		チャペル基金引当特定資産運用収入	0	113	0	0	0	113	
		岡崎有里修学支援金引当特定資産運用収入	0	1,354	0	0	0	1,354	
		その他の受取金利息・配当金	18,379,959	0	0	0	0	18,379,959	
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0	0	
	教育活動外収入 計	36,279,516	1,467	0	0	0	36,280,983		
	事業活動支出の部	借入金等利息	3,424,657	0	7,319,511	0	0	10,744,168	
		借入金利息	3,424,657	0	7,319,511	0	0	10,744,168	
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0	0	
教育活動外支出 計		3,424,657	0	7,319,511	0	0	10,744,168		
教育活動外収支差額		32,854,859	1,467	△ 7,319,511	0	0	25,536,815		
経常収支差額		△ 173,389,530	194,418,083	91,536,876	3,334,329	△ 13,729,584	102,170,174		
特別収支	事業収入の活動部	資産売却差額	0	0	0	0	0	0	
		その他の特別収入	0	20,522,551	923,960	43,942	46,360	21,536,813	
		現物寄付	0	9,731,192	7,902	0	0	9,739,094	
		施設設備補助金	0	8,580,000	916,058	43,942	0	9,540,000	
		過年度修正額	0	2,211,359	0	0	46,360	2,257,719	
		特別収入 計	0	20,522,551	923,960	43,942	46,360	21,536,813	
	事業活動支出の部	資産処分差額	0	2,100,299	973,439	151,967	0	3,225,705	
		教育研究用機器備品処分差額	0	329,178	0	0	0	329,178	
		図書処分差額	0	1,771,121	973,439	151,967	0	2,896,527	
		その他の特別支出	1,725,268	7,284,342	1,042,808	209,407	132,276	10,394,101	
		過年度修正額	1,725,268	7,284,342	1,042,808	209,407	132,276	10,394,101	
		特別支出 計	1,725,268	9,384,641	2,016,247	361,374	132,276	13,619,806	
		特別収支差額		△ 1,725,268	11,137,910	△ 1,092,287	△ 317,432	△ 85,916	7,917,007
		基本金組入前当年度収支差額		△ 175,114,798	205,555,993	90,444,589	3,016,897	△ 13,815,500	110,087,181
基本金組入額合計		0	△ 39,208,879	△ 142,010,600	△ 181,739	△ 223,080	△ 181,624,298		
当年度収支差額		△ 175,114,798	166,347,114	△ 51,566,011	2,835,158	△ 14,038,580	△ 71,537,117		
(参 考)									
事業活動収入 計		43,051,939	2,563,604,544	1,039,311,181	76,248,781	90,578,862	3,812,795,307		
事業活動支出 計		218,166,737	2,358,048,551	948,866,592	73,231,884	104,394,362	3,702,708,126		

貸借対照表

令和 7年 3月31日

(単位 円)

資 産 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定資産	8,829,535,202	9,057,252,590	△ 227,717,388
有形固定資産	7,025,504,902	7,303,835,205	△ 278,330,303
土地	1,257,951,496	1,257,951,496	0
建物	4,689,517,180	4,916,654,570	△ 227,137,390
構築物	168,327,162	196,958,750	△ 28,631,588
教育研究用機器備品	224,198,660	253,726,368	△ 29,527,708
管理用機器備品	14,470,477	12,575,496	1,894,981
図書	651,601,105	644,180,925	7,420,180
車両	19,438,822	21,787,600	△ 2,348,778
特定資産	1,242,797,579	1,192,398,270	50,399,309
第3号基本金引当特定資産	300,000,000	300,000,000	0
退職金引当特定資産	516,937,499	470,883,648	46,053,851
減価償却引当特定資産	398,780,808	392,543,216	6,237,592
奨学資金引当特定資産	26,867,882	26,260,024	607,858
チャペル基金引当特定資産	211,390	211,277	113
岡崎有里修学支援金引当特定資産	0	2,500,105	△ 2,500,105
その他の固定資産	561,232,721	561,019,115	213,606
電話加入権	1,117,140	1,117,140	0
有価証券	550,000,000	550,000,000	0
長期貸付金	2,872,138	7,901,975	△ 5,029,837
長期前払金	6,253,443	0	6,253,443
敷金・保証金	990,000	2,000,000	△ 1,010,000
流動資産	2,391,755,418	2,405,481,815	△ 13,726,397
現金預金	2,264,206,000	2,197,977,427	66,228,573
未収入金	114,656,438	191,919,383	△ 77,262,945
短期貸付金	8,033,000	11,868,800	△ 3,835,800
仮払金	40,767	0	40,767
立替金	415,015	255,008	160,007
前払金	4,404,198	3,461,197	943,001
資 産 の 部 合 計	11,221,290,620	11,462,734,405	△ 241,443,785
負 債 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定負債	2,336,333,633	2,517,093,958	△ 180,760,325
長期借入金	1,249,920,000	1,388,800,000	△ 138,880,000
長期未払金	75,169,270	97,371,098	△ 22,201,828
退職給与引当金	1,011,244,363	1,030,922,860	△ 19,678,497
流動負債	1,194,088,354	1,364,858,995	△ 170,770,641
短期借入金	438,880,000	538,880,000	△ 100,000,000
未払金	84,787,808	105,336,922	△ 20,549,114
前受金	412,616,000	468,686,000	△ 56,070,000
預り金	257,804,546	251,956,073	5,848,473
負 債 の 部 合 計	3,530,421,987	3,881,952,953	△ 351,530,966
純 資 産 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
基本金	13,681,741,499	13,500,117,201	181,624,298
第1号基本金	13,118,741,499	12,937,117,201	181,624,298
第3号基本金	300,000,000	300,000,000	0
第4号基本金	263,000,000	263,000,000	0
繰越収支差額	△ 5,990,872,866	△ 5,919,335,749	△ 71,537,117
翌年度繰越収支差額	△ 5,990,872,866	△ 5,919,335,749	△ 71,537,117
純 資 産 の 部 合 計	7,690,868,633	7,580,781,452	110,087,181
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	11,221,290,620	11,462,734,405	△ 241,443,785

(注記)

1. 重要な会計方針

① 引当金の計上基準

・徴収不能引当金

貸付奨学金の徴収不能に備えるため、個別に見積もった徴収不能見込額を計上している。

・退職給与引当金

退職給与の支払いに備えるため、次のとおり計上している。

大学の教職員については、期末要支給額 815,189,515円 の100%をもとにして、私立大学退職金財団に対する掛金の累計額と交付金の累計額との繰入調整額を加減した金額を計上している。

高校・中学校の教職員および学校法人の職員については、期末要支給額 720,299,973円 から宮城県私学退職金社団よりの交付金相当額を控除した金額の100%を計上している。

幼稚園の教職員については、期末要支給額 34,602,668円 の100%を計上している。

② その他の重要な会計方針

・有価証券の評価基準および評価方法

有価証券の評価基準及び評価方法は移動平均法に基づく償却原価法である。

・預り金その他経過項目に係る収支の表示方法等

預り金に係る収入と支出は相殺して表示している。

2. 重要な会計方針の変更等

記載すべき事項なし。

3. 減価償却額の累計額の合計額 6,883,918,125 円

4. 徴収不能引当金の合計額 88,159,744 円

5. 担保に供されている資産の種類及び額は、次のとおりである。 土 地 1,199,778,220 円

建 物 1,933,895,603 円

6. 翌年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額 953,263,816 円

7. 当該会計年度の末日において第4号基本金に相当する資金を有していない場合のその旨と対策

4号基本金に相当する資金を有しており、該当しない。

8. その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

① 有価証券の時価情報

(1)総括表

(単位 円)

	当年度(令和7年3月31日)		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	300,000,000	300,890,000	890,000
（うち満期保有目的の債券）	(0)	(0)	(0)
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	1,150,000,000	1,122,111,100	△ 27,888,900
（うち満期保有目的の債券）	(0)	(0)	(0)
合 計	1,450,000,000	1,423,001,100	△ 26,998,900
（うち満期保有目的の債券）	(0)	(0)	(0)
時価のない有価証券	0		
有価証券合計	1,450,000,000		

(2)明細表

(単位 円)

	当年度(令和7年3月31日)		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
債券	1,450,000,000	1,423,001,100	△ 26,998,900
株式	—	—	—
投資信託	—	—	—
貸付信託	—	—	—
その他	—	—	—
合 計	1,450,000,000	1,423,001,100	△ 26,998,900
時価のない有価証券	0		
有価証券合計	1,450,000,000		

② 関連当事者との取引

注記すべき事項はない。

③ 後発事象

該当なし

固定資産明細表

令和 6年 4月 1日 から
令和 7年 3月31日 まで

(単位 円)

科 目		期 首 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	期 末 残 高	減価償却額の累計額	差引 期 末 残 高	摘要
有形 固定 資産	土地	1,257,951,496	0	0	1,257,951,496		1,257,951,496	
	建物	10,350,014,965	注記1 27,243,034	0	10,377,257,999	5,687,740,819	4,689,517,180	
	構築物	1,043,551,011	0	0	1,043,551,011	875,223,849	168,327,162	
	教育研究用機器備品	505,473,011	注記2 42,870,226	注記3 84,426,229	463,917,008	239,718,348	224,198,660	
	管理用機器備品	24,900,684	5,564,900	6,104,412	24,361,172	9,890,695	14,470,477	
	図書	644,180,925	注記4 10,316,707	2,896,527	651,601,105	-	651,601,105	
	車両	43,890,626	1,028,610	0	44,919,236	25,480,414	19,438,822	
	計	13,869,962,718	87,023,477	93,427,168	13,863,559,027	6,838,054,125	7,025,504,902	
特定 資産	第3号基本金引当特定資産	300,000,000	0	0	300,000,000	-	300,000,000	
	退職金引当特定資産	470,883,648	注記5 211,162,785	注記6 165,108,934	516,937,499	-	516,937,499	
	減価償却引当特定資産	392,543,216	6,237,592	0	398,780,808	-	398,780,808	
	奨学資金引当特定資産	26,260,024	607,858	0	26,867,882	-	26,867,882	
	チャペル基金引当特定資産	211,277	113	0	211,390	-	211,390	
	岡崎有里修学支援金引当特定資産	2,500,105	1,354	2,501,459	0	-	0	
	計	1,192,398,270	218,009,702	167,610,393	1,242,797,579	-	1,242,797,579	
その 他 の 固 定 資 産	電話加入権	1,117,140	0	0	1,117,140	-	1,117,140	
	ソフトウェア	45,864,000	0	0	45,864,000	45,864,000	0	
	有価証券	550,000,000	0	0	550,000,000	-	550,000,000	
	長期貸付金	94,850,082	1,000,000	4,818,200	91,031,882	徴収不能引当金 〔 88,159,744 〕	2,872,138	
	長期前払金	0	6,253,443	0	6,253,443	-	6,253,443	
	敷金・保証金	2,000,000	990,000	2,000,000	990,000	-	990,000	
	計	693,831,222	8,243,443	6,818,200	695,256,465	〔 88,159,744 〕 45,864,000	561,232,721	
合計		15,756,192,210	313,276,622	267,855,761	15,801,613,071	〔 88,159,744 〕 6,883,918,125	8,829,535,202	

注記1. 建物の当期増加額27,243,034円は、現物寄付3,971,220円、その他である。

注記2. 教育研究用機器備品の当期増加額 42,870,226円は、大学教務システム基盤更新12,210,000円、大学証明書発行機9,289,500円、現物寄付2,331,352円、その他である。

注記3. 教育研究用機器備品の当期減少額84,426,229円は、耐用年数到来による除却、その他である。

注記4. 図書の当期増加額 10,316,707円は、現物寄付3,436,522円、その他である。

注記5. 退職金引当特定資産の当期増加額 211,162,785円は、預金等への預け入れである。

注記6. 退職金引当特定資産の当期減少額 165,108,934円は、退職金の支払いのための取崩等である。

注記7. 敷金・保証金の当期減少額 2,000,000円は、大学地域連携交流プラザ(イオンモール名取)の原状回復撤去費用への充当である。

借入金明細表

令和 6年 4月 1日 から

令和 7年 3月31日 まで

(単位 円)

借 入 先			期 首 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	期 末 残 高	利 率	返 済 期 限	摘 要
長 期 借 入 金	公 融 的 機 関	日本私立学校振興・共済事業団	1,388,800,000	0	* 138,880,000	1,249,920,000	0.50%	令和17年3月15日	校舎建設資金 土地建物担保
		小計	1,388,800,000	0	* 138,880,000	1,249,920,000			
	市 融 中 機 関								
		小計	0	0	0	0			
	そ の 他								
		小計	0	0	0	0			
	計		1,388,800,000	0	* 138,880,000	1,249,920,000			
短 期 借 入 金	公 融 的 機 関								
		小計	0	0	0	0			
	市 融 中 機 関	七十七銀行長町支店	400,000,000	300,000,000	400,000,000	300,000,000	1.00%	令和7年8月29日	経常運転資金
		小計	400,000,000	300,000,000	400,000,000	300,000,000			
	そ の 他								
		小計	0	0	0	0			
	返済期限が1年以内の長期借入金		138,880,000	* 138,880,000	138,880,000	138,880,000			
	計		538,880,000	300,000,000 * 138,880,000	538,880,000	438,880,000			
合計			1,927,680,000	300,000,000 * 138,880,000	538,880,000 * 138,880,000	1,688,800,000			

基本金明細表

令和6年4月 1日から
令和7年3月31日まで

(単位:円)

事 項	要 組 入 高	組 入 高	未 組 入 高	摘 要
第1号基本金				
前期繰越高	14,036,256,730	12,937,117,201	1,099,139,529	
当期組入高				
① 建物				
建物の当期取得に係る組入高	27,243,034			
小 計	27,243,034	27,243,034	0	
過年度未組入高に係る当期繰入高		142,389,989	△ 142,389,989	
② 教育研究用機器備品				
教育研究用機器備品の当期取得に係る組入高				
大学教務システム基盤更新に係る組入高	12,210,000			
大学証明書発行機取得に係る組入高	9,289,500			
その他の当期取得に係る組入高	21,370,726			
除却した教育研究用機器備品に係る基本金額	△ 84,426,229			
過年度基本金組入れの繰延高	△ 86,286,842			
翌年度基本金組入れの繰延高	127,842,845			
小 計	0	0	0	
過年度未組入高の当期繰入高		223,080	△ 223,080	
③ 管理用機器備品				
管理用機器備品の当期取得に係る組入高	5,564,900			
除却した管理用機器備品に係る基本金額	△ 6,104,412			
過年度基本金組入れの繰延高	△ 14,375,069			
翌年度基本金組入れの繰延高	14,914,581			
小 計	0	0	0	
④ 図書				
図書の当期取得に係る組入高	10,316,707			
除却した図書に係る基本金額	△ 2,896,527			
過年度基本金組入れの繰延高	△ 63,825,258			
翌年度基本金組入れの繰延高	63,882,019			
小 計	7,476,941	7,476,941	0	
⑤ 車両				
車両の当期取得に係る組入高	1,028,610			
小 計	1,028,610	1,028,610	0	
過年度未組入高に係る当期繰入高		3,262,644	△ 3,262,644	
計	35,748,585	181,624,298	△ 145,875,713	
当期末残高	14,072,005,315	13,118,741,499	953,263,816	
第3号基本金				
前期繰越高	—	300,000,000	—	
当期末残高	—	300,000,000	—	
第4号基本金				
前期繰越高	263,000,000	263,000,000	0	
当期末残高	263,000,000	263,000,000	0	
合 計				
前期繰越高	—	13,500,117,201	1,099,139,529	
当期組入高	—	181,624,298		
当期末残高	—	13,681,741,499	953,263,816	

監査報告書

2025(令和7)年5月15日

学校法人尚絅学院 理事会 御中
評議員会 御中

学校法人 尚絅学院

監事 石井 達 
監事 熊谷 真人 

私たちは、私立学校法第37条第3項及び学校法人尚絅学院寄附行為第29条の規定に基づき、学校法人尚絅学院の2024(令和6)年度(2024年4月1日から2025年3月31日まで)の業務及び財産の状況並びに理事の職務の執行の状況について監査を行いました。

その結果につき、次のとおり報告いたします。

1. 監査方法の概要

監査にあたり、理事会、評議員会、常任会その他の会議において、理事からの業務報告を聴取するとともに、決裁書類等を閲覧し、業務、財産、理事の職務の執行の状況を調査しました。また、会計監査人及び内部監査人と連携し、その報告や説明を基に計算書類についての確認など、必要と認める監査手続きを実施いたしました。

2. 監査の結果

業務及び理事の職務の執行の状況については、特に指摘すべき事項は認められませんでした。また、計算書類は会計帳簿の記載と合致し、学校法人尚絅学院の業務及び財産の状況並びに理事の職務の執行の状況に関し不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めます。

なお、各監査項目の内容については、「2024年度事業報告1-8(3) 監査の状況①監事監査」にて報告しております。

以上

財産目録

2025年3月31日現在

I 資産総額	11,221,290,620 円
内 基本財産	7,026,622,042 円
運用財産	4,194,668,578 円
収益事業用財産	0 円
II 負債総額	3,530,421,987 円
III 正味財産	7,690,868,633 円

区分		金額
資産額		
1基本財産		7,026,622,042 円
土地	323,099.00 m ²	1,257,951,496 円
建物	43,641.74 m ²	4,689,517,180 円
図書	198,189 冊	651,601,105 円
教具・校具・備品	1,578 点	238,669,137 円
その他		188,883,124 円
2運用財産		4,194,668,578 円
現金預金		2,264,206,000 円
その他		1,930,462,578 円
3収益事業用財産		0 円
資産総額		11,221,290,620 円
負債額		
1固定負債		2,336,333,633 円
長期借入金		1,249,920,000 円
その他		1,086,413,633 円
2流動負債		1,194,088,354 円
短期借入金		438,880,000 円
その他		755,208,354 円
負債総額		3,530,421,987 円
正味財産(資産総額 — 負債総額)		7,690,868,633 円